- 一般国道56号 片坂バイパス
- 一般国道56号 窪川佐賀道路

事業再評価

平成 28 年 12 月 9 日 国土交通省 四国地方整備局

一般国道56号 片坂バイパス

一般国道56号 窪川佐賀道路

【 目 次 】

1. 事業の概要	
1.1. 事業の目的	1
1.2. 事業の経緯	
1.3. 事業計画諸元	
2. 事業の効果と必要性	4
2.1. 事業の効果と必要性	4
2.2. 事業による波及効果	7
3. 事業の進捗状況と見込み	10
3.1. 事業の進捗状況と見込み	10
4. 事業の投資効果	11
4.1. 事業の投資効果	11
5. コスト縮減の視点	12
5.1. コスト縮減	12
5.2. 代替案立案等の可能性	12
6. 地方公共団体からの要望	13
7. 対応方針(原案)	14

1. 事業の概要

1.1. 事業の目的

一般国道 56 号は、高知県高知市を起点として、愛媛県松山市に至る全長約 336 k mの主要幹線 道路であり、高知西南地域の産業・経済・生活を支える大動脈である。このうち、片坂バイパス 及び窪川佐賀道路に並行する現道区間においては、線形不良・災害危険箇所が多い等、様々な課 題を抱えている。

一般国道 56 号片坂バイパス及び窪川佐賀道路は、四国 8 の字ネットワークを形成し、高知県西南地域の交流の促進及び地域活性化を支援する道路である。また、高知新港、高知龍馬空港へのアクセス向上による地域産業の活性化、南海トラフ地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保などの支援を目的としている。

<位置図> 坂バイパス 窪川佐賀道路 高速道路 凡 例 高速道路 般国道 再評価箇所 津波浸水区域※ 佐賀IC 黒潮町 四万十町 拳ノ川IC 至四万十市 至高知市 (仮称) ALLE CHARLES 四万十町西IC H30年度 開通予定 延長6.1km (2/2) 一般国道56号 一般国道56号 一般国道56号 窪川佐賀道路(佐賀工区) 片坂バイパス 窪川佐賀道路(窪川工区) 延長 6.1km 延長 6.2km 延長 5.0km 四国横断 片坂バイパス・窪川佐賀道路 総延長 17.3km 自動車道

※) 最大クラスの地震・津波

1.2. 事業の経緯

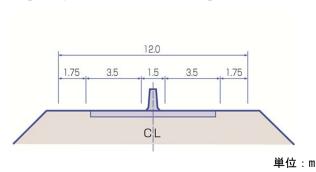
	片坂バイパス	窪川佐賀道路
平成 16 年度	都市計画決定	都市計画決定
平成 17 年度	事業化	
平成 20 年度	工事着工(工事用道路) 都市計画変更	都市計画変更
平成 21 年度	用地着手	
平成 24 年度		事業化
平成 26 年度		用地着手(佐賀工区)
平成 27 年度		工事着手(佐賀工区)

1.3. 事業計画諸元



<標準断面図>

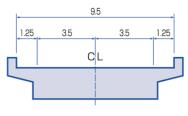
【土工部及び中小橋 (L=50m未満)】



【トンネル】 CL 10.5 1.75 35 35 1.75 0.25 1.5 0.25

単位:m

【長大橋 (橋長 L=50m以上)】



単位:m

2. 事業の効果と必要性

2.1. 事業の効果と必要性

移動時間の短縮

【現況・課題】

• 黒潮町からくぼかわ病院間の移動は現在約50分を要しており、またルート上には急カーブ や急勾配があり、救急搬送時に患者の体に負担がかかる。

<拠点間のアクセス向上>



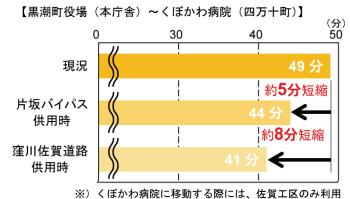
【写真 並行する現道の線形不良箇所】



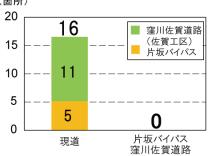
【整備効果】

● 片坂バイパス・窪川佐賀道路の整備により、黒潮町からくぼかわ病院間の所要時間を約8分 短縮するとともに、急カーブ・急勾配の無い道路ネットワークの形成で患者の負担を軽減さ せ、救急医療活動を支援する。

<移動時間の短縮>

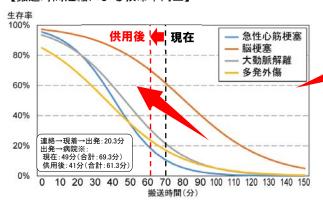


【現道の線形不良箇所数 (R<100m*)】 (箇所)



※) 道路構造令における設計速度 50km/h の場合の最小曲線半径の規定値

【搬送時間短縮による救命率向上】



搬送時間短縮により生存率向上

急性心筋梗塞: 7.1%向上(現: 10.8%→後: 17.9%) 脳梗塞:7.8%向上(現:61.9%→後:69.7%) 大動脈瘤解離:8.6%向上(現:21.7%→後:30.3%) 多発外傷:6.0%(現:17.3%→後:23.4%)

- 資料)「ロジット回帰を適用した道路整備の救急医療改善効果推計」交通工学 Vol. 47 No. 2 2012 現着時間、処置時間:高知県救急年報 ※) 移動は世界に、連絡→現着→現場出発(20.3 分)を
- 含めた時間
- ※)黒瀬町役場(本庁舎)からくぼかわ病院(四万十町)を対象とし、片坂バイパス及び窪川佐賀道路供用により搬送時間が8分短縮

信頼性の高い緊急輸送道路の確保

【現状・課題】

• 国道 5 6 号は、幡多地域唯一の第一次緊急輸送道路であるが、片坂バイパス・窪川佐賀道路 に並行する現道は、防災点検箇所が数多く存在している。

<防災点検箇所>



【整備効果】

• 片坂バイパス及び窪川佐賀道路の整備により、信頼性の高い緊急輸送道路を確保し、迅速な 道路啓開など地域防災を支援する。

<津波被災時に想定される啓開ルート>





現道交通の安全性の確保、向上

【現状・課題】

- 並行する現道の線形不良箇所では急ブレーキや急ハンドルなどの急挙動が見られ、車線逸脱 (正面衝突、車両単独)による事故が発生している。
- 窪川佐賀道路(窪川工区)に並行する現道の交差点は、事故危険区間に指定されている。

<現道の線形不良区間および急挙動、重傷・死亡事故発生箇所(H23-H26)>



資料: <事故>交通事故総合分析センターデータ (H23-26)

<急挙動>ETC2.0 (H27.9-11)

【現道で発生した交通事故の様子】

【現道の線形不良区間 (ヘアピンカーブ)】

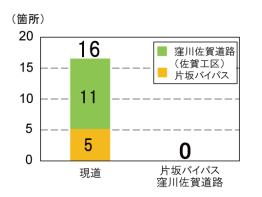




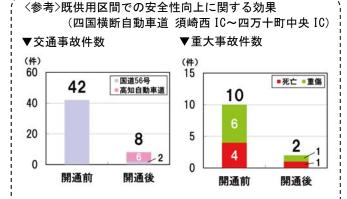
【整備効果】

● 急カーブの無いネットワークの形成で、交通の転換による現道交通の安全性の確保、向上が 期待される。

<現道の線形不良箇所数(R<100m*)>



※) 道路構造令における設計速度50km/hの場合の最小曲線半径の規定値



販路拡大による地域経済の活性化を支援

【現状、課題】

● 土佐清水市のブランド魚「清水さば」は、平成27年から東京や神戸などの都市圏に販路が拡大している。

<清水さばの販路拡大>

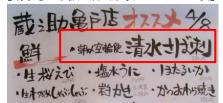


資料:高知県漁協清水統括支所資料

H27.4

【清水さば取扱い店(東京)のメニュー表】

H28.4

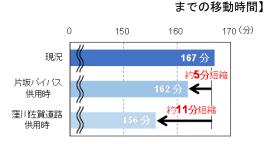


【整備効果】

● 移動時間の短縮により、より鮮度の高い「清水さば」を都市圏に出荷でき、更なる販路の拡大に繋がることが期待される。

<清水さばの流通を支援>

【JF 高知清水統括支所~高知龍馬空港



※) 片坂バイパスおよび窪川佐賀道路は 70km/h(想定される規制速度)、その他の 道路は平成22年度道路交通センサスにお ける混雑時旅行速度に基づき算出

【「清水さば」を取り扱う店舗の盛況ぶりを報じる新聞記事】

0



漁業関係者の声

高速道路延伸により所要時間が短縮 するため、さらに鮮度が高い清水さば を大都市で提供することに繋がる。



飲食店の声

清水さばを扱うことにより、店 のブランド化にもつながり、来 店の呼び水になる。

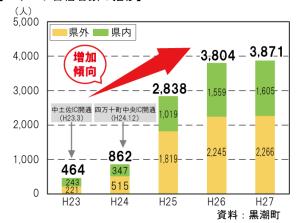


黒潮町におけるスポーツツーリズムの拡大

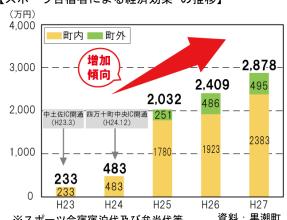
【現状·課題】

• 高速道路の延伸に伴い、黒潮町のスポーツ合宿者数や経済効果が増加し、また、広域からの 来訪にも繋がっている。

<スポーツツーリズムの振興> 【スポーツ合宿者数の推移】

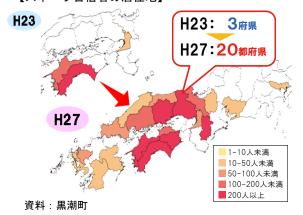


【スポーツ合宿者による経済効果*の推移】



資料:黒潮町 ※スポーツ合宿宿泊代及び弁当代等

【スポーツ合宿者の居住地】



【スポーツツーリズム振興による地域の活性化】

黒潮町人口ビジョンでは、「2060年に6,800人程度の人口を確保する」ことを示しており、これを実現するため、

基本目標1 地産外商により安定した雇用を創出する

本町の人口ピラミッドの構成上、生産年齢人口の減少も、当面の間、避けがたい状況が予測されており、 これに伴う内需の減少など負のスパイラルから抜け出せないことが見込まれる。 こうした負の連鎖を断ち切り、状況を改善するためには、若者が地域に残ることができるよう、地域にある

資源を有効に活用し、希少価値の高い産物や加工技術の開発などにより産業の振興を図り、雇用を創出 することが必要不可欠である。

また、四国横断自動車道が延伸されるにつれて、スポーツ合宿の実績が大幅な伸びをみせており、この 流れをさらに加速させるためにも、まちのインフラ計画の推進を図り早期の完成を目指すことで、豊かな自然 やスポーツ施設等の地域資源、そして、町民のおもてなしを活かした観光の振興により交流人口を更に拡 大し外貨を獲得するなど、基幹産業と観光地づくりによる取り組みが連携することで基幹産業を強化するこ とが重要である。

高知県では、高知県産業振興計画において、地産外商を全体戦略として取り組み、進めているところで あるが、黒潮町においても高知県と連携して、地産外商の成果を町外にも拡大し、再生産を図り、地域に根 差した産業の振興により、バランスのとれた産業の形成を目指して安定した雇用を創出するため取り組みを 推進する。

資料:黒潮町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【黒潮町のスポーツ施設の好調を報じる 新聞記事】



行政の声

- 高速道路延伸につれ、利用者が増 加傾向にある。
- 合宿者数の増加や大会の大規模化 につれ、町単独での受け入れが困 難になってきたため、宿毛市や四万 十市と連携を進めている。



【整備効果】

• 高知龍馬空港や高速道路 IC などの交通結節点から黒潮町の合宿地への移動時間が短縮される ことにより、更なる交流の促進に繋がることが期待される。

インバウンド観光・訪日外国人観光客の増大

【現況·課題】

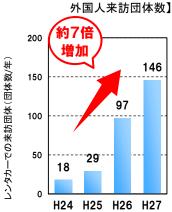
• 高速道路の延伸や高松空港国際線の増便に伴い、四万十市や土佐清水市への外国人観光客数 は年々増加傾向にあり、4年間で土佐清水市の外国人宿泊者数は約5倍増加し、四万十市に レンタカーで来訪する団体数は約7倍増加した。

<外国人観光客の増加>



【土佐清水市の外国人宿泊者数】





資料:四万十市観光協会

【整備効果】

● 片坂バイパス・窪川佐賀道路の整備に伴うアクセス性が向上し、インバウンド観光の促進に 繋がることが期待される。

新

【四万十市への訪日客急増を報じる新聞記事】





万十 市も急増

子市のことを知った た。台湾でも放送さ

本 四万十市観光商工課の は、県全体に外国人観光の地方に目を向け始めた。そもそ でのけ始めた。そもそ

め、佐田の沈下橋を気圏風景をカメラに収時間半散策。道中、田

田 ると、15年の県内の外 組 一条と、15年の県内の外 組 一条と、15年の県内の外 組)で前年比80・4 25 日本では12万4で2 学 15年の国・地域 2 りだ。15年の国・地域 2 りだ。15年の県内の外 2 りがりには、15年の県内の外 2 りがりには、15年の別 2 りがりには、15

前の3倍となった。 15年度に 2 土佐くろしお鉄道など は、切符1枚でJRや

上 対応が進んでいる。物 十(同市右山)は、昨 年3月に免税店の許可 を受けた。土居敬頼長 に配布。昨年は、中平 に配布。昨年は、中平 に配布。昨年は、中平 に配布。昨年は、中平

も足を運び、自社商品 のPRと哺多観光の営 業に励む。

で

赋

ドラマ効果

四万十市を訪れる外国人観光客が、ここ数年で急増している。前観光協会の案内所を利用した外団人客数は、2015年には1971人と前年以格、295億年となり、集計を始めた11年(21人の9倍余りに、中でも目立つのが台湾からの観光客で、15年は806人と11年(35人)の23倍に増え、全体の4割を占める。なぜ台湾から四万十市へ? その背景を探った。

市のの正十さぎ。四万 東京水がった4月 東京水が、台湾人観光 東クルーブが訪れた。 東代すぐ、台湾人観光 東でランスの 側性食くに女性1人 の一を語で客内所の聴員 とやりとする。同じ とのというする。同じ とのとなる。同じ とのとなるとのます。 でも、ためというする。 には、一般である。 という。 といる。 という。 といる。 という。 といる。 という。 とい。 という。 といる。 とい。 といる。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい。 とい。 といる。 といる。 といる。 とい。 といる。 とい

誘客策拡充 波及に期待



四万十川に観光に來た台湾人観光客。道中、四万十市の 自然にカメラを向けた(四万十市入田)

地元商店の声

2016年(平成28年)5月10日

- 高松空港の国際線の増便により、四国を訪れる外国人観光 客は増加すると考えている。
- 高速道路延伸は移動時間短縮だけでなく、日本での運転に 不慣れな外国人にとって、運転しやすいと思われ、来やすく なると思う。



観光団体の声

来られた外国人観 光客に話を伺った ら、高松空港や関 西空港から来られ ている人が多い。



3. 事業の進捗状況と見込み

3.1. 事業の進捗状況と見込み

- 片坂バイパスの用地取得率は100%、事業進捗率は約81%となっており、平成30年度 の開通に向け、現在、改良・トンネル・橋梁・舗装工事を推進中である。
- 窪川佐賀道路全体の用地進捗率は約15%、事業進捗率は約6%となっており、現在、調査 設計、用地買収、改良・橋梁下部工事を推進中である。



			I .
区間	窪川佐賀道路 (佐賀エ区) 拳ノ川 IC(仮称) ~佐賀 IC(仮称)	片坂バイパス 四万十町西 IC 〜拳ノ川 IC(仮称)	窪川佐賀道路 (窪川工区) 四万十町中央 IC ~四万十町西 IC
延長	6.2km	6.1km	5.0km
現 況	調査設計、用地買 収、改良・橋梁下部 工事推進	改良・トンネル・橋 梁・舗装工事推進 (平成30年度 開通予定)	調査設計推進
用地取得状況 (平成 27 年度末時点)	約 15%※	100%	約 15%※
事業の進捗率 (平成 27 年度末時点)	約 6%※	81%	約 6%※

窪川佐賀道路の用地取得状況及び事業進捗率は、窪川工区、佐賀工区の全体の値である。





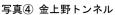
撮影日: H28.7.27



撮影日: H28.10.4



撮影日: H28.9.17





撮影日: H28. 10. 4



撮影日: H28.10.4

4. 事業の投資効果

4.1. 事業の投資効果

■ 3便益による費用便益比

《費用》 《3便益》

《3便益による費用便益比》

												費用便	益比(B/C)
基準年に	おける現	見在価値	事業費	維持 管理費	基準年における現在価値			走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	※【 】書きは、前回評価時		
片坂	事業 全体	275億円	262億円	14億円	片坂	事業 全体	287億円	238億円	37億円	12億円	片坂	事業 全体	287億円 / 275億円 = 1. 04【前回1. 02】
バイパス	残事業	24億円	11億円	14億円	バイパス	残事業	287億円	238億円	37億円	12億円	バイパス	残事業	287億円 / 24億円 = 11.8【前回1.8】
窪川佐賀	事業 全体	320億円	304億円	16億円	窪川佐賀	事業 全体	330億円	270億円	44億円	16億円	窪川佐賀	事業 全体	330億円 / 320億円 = 1. 03【前回 1. 0】
道路	残事業	264億円	248億円	16億円	道路	残事業	330億円	270億円	44億円	16億円	道路	残事業	330億円 / 264億円 = 1. 2

【参考】 片坂バイパス+窪川佐賀道路での一体評価

基準年に	こおける雰	見在価値	事業費	維持管理費	基準年に	おける理	見在価値	走行時間 短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	*		基益比(B/C) は、前回評価時
片坂 バイパス	事業 全体	594億円	565億円	29億円	片坂 バイパス	事業 全体	603億円	514億円	65億円	23億円	片坂 バイパス	事業 全体	603億円/594億円 = 1. 01
生 窪川佐賀 道路	残事業	288億円	259億円	29億円	生 窪川佐賀 道路	残事業	603億円	514億円	65億円	23億円	生 窪川佐賀 道路	残事業	603億円/288億円= 2.1

- ※) 費用及び便益額の値は基準年 (H 2 8) における現在価値を表す。四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。
- ※) 平成 22 年度 8 月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することとなっていた推計手法の 改善(第二段階)を反映した将来 OD 表に基づき B/C を算出。

■ その他効果

- 移動時間の短縮
- 信頼性の高い緊急輸送道路の確保
- 現道交通の安全性の確保、向上
- 販路拡大による地域経済の活性化を支援
- スポーツツーリズムの拡大
- インバウンド観光・訪日外国人観光客の増大

5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

5.1. コスト縮減

• 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理 費を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

【縮減検討項目】

• トンネルにおいてナトリウム照明から LED 照明への変更。

<ナトリウム照明(従来)>



<LED 照明(コスト縮減策)>



5.2. 代替案立案等の可能性

• 片坂バイパスについては、平成30年供用に向け事業を進めており、用地を100%取得している。また、窪川佐賀道路については、四国横断道自動車道と片坂バイパスを繋ぐ重要な事業であるため、代替案立案の可能性はない。

6. 地方公共団体等からの要望

• 周辺の自治体などから、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。

< 片坂バイパス・窪川佐賀道路の整備促進に関する最近の要望活動について>

年月日	内 容	団体名
平成 21 年 11 月	要望活動	一般国道 56 号バイパス建設促進期成同盟会
平成 22 年 2 月	要望活動	四国横断自動車道高知県促進期成会
平成 22 年 5 月	要望活動	黒潮町
平成 22 年 7 月	要望活動	高知県知事
平成 22 年 9 月	要望活動	黒潮町
平成 22 年 10 月	要望活動	四国横断自動車道高知県促進期成会
平成 24 年 9 月	要望活動	高知県、黒潮町、一般国道 56 号バイパス建設推進期成同盟会等
平成 25 年 2 月	要望活動	高知県、黒潮町、一般国道 56 号バイパス建設推進期成同盟会等
平成 26 年 11 月	要望活動	四国横断自動車道高知県促進期成会
平成 27 年 5 月	要望活動	四万十市長·黒潮町長
平成 27 年 8 月	要望活動	四国横断自動車道高知県促進期成会
平成 27 年 11 月	要望活動	四国横断自動車道高知県促進期成会、一般国道 56 号バイパス
		建設推進期成同盟会
平成 28 年 2 月	要望活動	幡多 6 市町村議会議長

7. 対応方針(原案)

①再評価の視点

- (1) 事業の必要性に関する視点
 - ■移動時間の短縮
 - ■信頼性の高い緊急輸送道路の確保
 - ■現道交通の安全性の確保、向上
 - ■販路拡大による地域経済の活性化を支援
 - ■スポーツツーリズムの拡大
 - ■インバウンド観光・訪日外国人観光客の増大

(2) 事業の進捗状況と見込み

- 片坂バイパスの用地取得率は100%、事業進捗率は約81%となっており、平成30年度の開通に向け、現在、改良・トンネル・橋梁・舗装工事を推進中。
- ■窪川佐賀道路全体の用地進捗率は約15%、事業進捗率は約6%となっており、現在、調査 設計、用地買収、改良・橋梁下部工事を推進中。

(3) 事業の投資効果

■費用便益比(B/C)

片坂バイパス【事業全体】1.04【残事業】11.8窪川佐賀道路【事業全体】1.03【残事業】1.2

<参考 一体評価>

片坂バイパス・窪川佐賀道路 【事業全体】1.01 【残事業】2.1

(4) コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

■コスト縮減

- 今後も工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理のコスト縮減等、総コストの縮減に努めていく。
- ■代替案立案等の可能性
 - ・片坂バイパスについては、平成30年供用に向け事業を進めており、用地を100%取得している。また、窪川佐賀道路については、四国横断道自動車道と片坂バイパスを繋ぐ重要な事業であるため、代替案立案の可能性はない。

②地方公共団体の意見

【高知県知事意見】

事業継続に異議はありません。

四国8の字ネットワークを構成する一般国道56号片坂バイパスと窪川佐賀道路は、県中央部と西部地域をつなぐ唯一の幹線道路の代替機能を担い、南海トラフ地震などの大規模災害発生時の着実で円滑な支援物資の輸送、地域間交流や商圏の拡大による地域経済の活性化に資する重要な路線です。

このため、国においては早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。特に、片坂バイパスにおいては、平成30年度の供用に向け、着実な整備促進をお願いします。

【今後の対応方針(原案)】

以上のことから、片坂バイパス及び窪川佐賀道路の事業を継続する。

様式一1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

一般国道56号 片板バイパス	四国地方整備局
事業名	事業主体

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(3便益)(B/C)=1.04、経済的純現在価値(B-C)=12億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.2%) 残事業:費用便益比(3便益)(B/C)=11.8、経済的純現在価値(B-C)=263億円、経済的内部収益率(EIRR)=77.6%)
●事業の交	効果や必要性を評	●事業の効果や必要性を評価するための指標	
변	政策目標	古	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間の削減量: 288千人・時間/年(819千人・時間/年⇒531千人・時間/年) 光滞損失時間の削減量: 3584間が 区間b(当該区間/並行区間)について: (一般国道56号) 渋滞損失時間の削減量: 296千人・時間/年(301千人・時間/年⇒5千人・時間/年)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		田道文は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道等の路線バスの利便性や快適性の向上が見込まれる (高速バス:しまんとライナー(高知~四万十・足摺・大月)、しまんとブルーライナー(宿毛・四万十~神戸・大 阪・京都)、その他:通院バス(くぼかわ病院~大方))
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高知龍馬空港までの所要時間の短縮が見込まれる ・黒潮町~高知龍馬空港間の所要時間:【現況】116分→【片坂バイパス供用時】111分(約5分短縮)
	物流効率化の支援 援	口 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	高知県西南部における農林水産品(清水さば等)の流通の利便性向上が見込まれる ・清水漁協~高知龍馬空港間の所要時間:【現況】167分→【片坂パイパス供用時】162分(約5分短縮)
		ロ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生		
		□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	四国8の字ネットワークを形成
		□ 地域高級格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する (4.路線としての位置づけがあ る場合)	高知市(中央地方生活圏)~四万十市(幡多地方生活圏)を連絡する高規格幹線道路の一部を構成する ・高知市~四万十市間の所要時間:【現況】130分→【片坂バイパス供用時】125分(約5分短縮)
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	須崎市(高幡地方生活圏中心都市)~四万十市(幡多地方生活圏中心都市)を最短時間で連絡する路線を構成する ・須崎市~四万十市間の所要時間:【現況】83分→【片坂パイパス供用時】78分(約5分短縮)
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	黒潮町~四万十町間のアクセス向上が绑待される ・黒潮町~四万十町間の所要時間:【現況】42分→【片坂バイバス供用時】37分(約5分短縮)
	個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	観光地へのアクセス向上が期待される(四万十川観光開発、足摺海洋館、西土佐カヌー館等) ・四万十市~高知16間の所要時間:【現況】112分→【片坂バイパス供用時】107分(約5分短縮)
		口 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	

2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該口当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		ロ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	□ 対象区間が電線類地中化	
		□ 布街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において 新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	第二次教急医療施設から第三次教急医療施設に転院搬送する際のアクセス向上が期待される 【第二次教急医療施設】くぼかわ病院(四万十町)、幡多けんみん病院(宿毛市) 【第三次教急医療施設】高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院 ・黒潮町佐賀地区~くぼかわ病院間の所要時間:【現況】23分→【片坂バイパス供用時】18分(約5分短縮)
3. 安全	安全な生活環境 の確保	日報道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又 □ は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交口 通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	た化する集落を解消する	唯一の幹線道路である国道56号(現道)を補完し、孤立の危険性を軽減 ・並行する現道区間の防災点検箇所:17箇所、南海トラフ地震の浸水区域:黒潮町、中土佐町中心部等
	,	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)とし「 て位置づけあり	国道56号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている
	,	■ 急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	現道である国道56号が土砂災害等により通行止めになった場合の代替路を形成
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	四国横断自動車道の代替路線を形成
	•	■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消さ ■ れる	現道の防災点検箇所(17箇所)を回避するルートを形成
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からの602排出量	602排出量の削減が見込まれる ・602排出削減量:1.9干t-602/年、602排出削減率:8%(費用便益分析の対象リンク)
	生活環境の改 善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NOX排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量:11.8t-N02/年、N02排出削減率:98%(並行する現道区間)
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量:0.7t-SPM/年、SPM排出削減率:99%(並行する現道区間)
	,	□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待され る区間がある	
		口 その他、環境や景観上の効果が期待される	

5. その他	5. その他 他のプ iv ihと の関係	□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		ロ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その音	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	現道の線形不良箇所を回避したルートを形成 ・曲線半径100m未満の箇所数:5箇所→0箇所

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・そ の他の別
一般国道56号	片坂バイパス	L=6. 1 km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7, 000	2	四国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成28年度	
単純合計	235億円	34億円	269億円
うち残事業分	11億円	34億円	45億円
基準年における 現在価値(C)	262億円	14億円	275億円
うち残事業分	11億円	14億円	24億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計		
基 準 年		平成28年度				
供 用 年	平成31年度					
単年便益 (初年便益)	13億円	2.1億円	0.68億円	16億円		
基準年における 現在価値(B)	238億円	37億円	12億円	287億円		
うち残事業分	238億円	37億円	12億円	287億円		

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 04
経済的純現在価値(事業全体)	12億円
経済的内部収益率 (事業全体)	4. 2%
費用便益比(残事業)	11. 8
経済的純現在価値 (残事業)	263億円
経済的内部収益率 (残事業)	77. 6%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7, 000	±10%	0.9~1.2
事業費	11億円	±10%	1.04~1.05
事業期間	2年	±20%	0.99~1.1

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7, 000	±10%	10.3~13.4
事業費	11億円	±10%	11.3~12.0
事業期間	2年	±20%	11.7~12.1

事業名:片坂バイパス

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
	改築道路	交通量^{※1}	[台/日]		7, 008
片坂バイパス		走行時間※2	[分]		5
: 6.	1km	走行時間費用※3	[億円/年]		5. 75
	一般国道	交通量	[台/日]	6, 333	246
	56 号	走行時間	[分]	16	16
	: 8.7km	走行時間費用	[億円/年]	18. 77	0. 56
	一放出坦	交通量	[台/日]	2, 203	1, 832
	381号	走行時間	[分]	23	23
	: 15.3km	走行時間費用	[億円/年]	8. 96	7. 40
		交通量	[台/日]		
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路	合計:76.3km	走行時間費用	[億円/年]	45. 65	47. 13

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 106.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	73. 38	60. 84	12. 54

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



事業名: 片坂バイパス

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
	改築道路	交通 量 ^{※1}	[台/日]		7, 008
片坂バイパス		走行時間 ^{※2}	[分]		5
: 6.	1km	走行時間費用※3	[億円/年]		5. 75
	一般国道	交通量	[台/日]	6, 333	246
	56 号	走行時間	[分]	16	16
	: 8.7km	走行時間費用	[億円/年]	18. 77	0. 56
	一放出坦	交通量	[台/日]	2, 203	1, 832
	381号	走行時間	[分]	23	23
	: 15.3km	走行時間費用	[億円/年]	8. 96	7. 40
		交通量	[台/日]		
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路	·合計:76.3km	走行時間費用	[億円/年]	45. 65	47. 13

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 106. 4km 走行時間短縮便益	[億円/年]	73. 38	60. 84	12. 54

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



様式-3②

費用便益分析の条件

事業名: 片坂バイパス

(2)

		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	_
	算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)	
		その他	
		分析対象期間	50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	平成28年度
	交通流の	1時点のみ推計	■ (H42)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	##= ^ #*\	整備の有無のいずれかのみ推計	□有□無
	推計の状況	いずれかのみいずれかのみの推計とした理由を記載	
		の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
	1#=L/- (T) L	(三段階推定法)	(H17センサス)
	推計に用いた	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
	OD表	(四段階推定法)	
		その他()	
交		無	<u> </u>
通		有	П
流	開発交通量の	考慮した開発交通量(トリップ数)	<u>ー</u> ()台トリップ/日
推	考慮	有の場合のみ考慮した理由を記載	\ / \ / \ / \ / \ \ / \ \ \ / \ \ \ \ \
計		130.30	
п		QーV式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		QーV式と転換率式の併用による配分	■
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<u> </u>
		均関能力(リングバンオーマンへ関数を用いた能力) 簡易手法	
	配分交通量の 配分交通量の	T	
	推計手法	小規模事業である 簡易手法の い間の海岸の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	
	, LA	山間部海岸部で併行道路が少ない	Ц
		その他()	
		间旁 1 从 2 元 元 八 八 八 八 八 八 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	
		その他()	П
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
			<u>, </u>
	速度設定の		
	考え方	最終配分の速度	П
		取べにガの速度 採用理由を記載	
		その他()	П
		しての同人	

(3)

			項目	チェック欄
		考慮しない		
	1	考慮する		
	仕口去るの		面的に考慮	
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮	
	彩音	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %
	1	一 初口 ひノ・バー	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方	を記載
	1			
		考慮しない		
	·	考慮する		
	<i>~~~~</i>		採用した通行止め日数	() 目
	災害等による		採用した通行止め日数の考え方を記載	
	通行止めの 影響	考慮する		
	ボノョ	場合のみ	とり止め交通を考慮する	
	1		とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合に	」 はその考え方を記載
	1			
		考慮しない		
	1	考慮する		
	1	·J mex / C	採用した冬期日数	() 日
	冬期交通の		採用した冬期日数の考え方を記載	
便	影響	考慮する		
益	1	場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係	
の	1		設定の考え方を記載	
算定	1			
定	交通流推計の	ブロック別・耳	 種別走行台キロの伸び率による設定	
	時点以外の	その他		
	便益の算定	()	
		費用便益分	析マニュアルの値を使用	
	車種別時間	独自に設定し	た値を使用	
	価値原単位	算出根拠を添		
	1			
		費用便益分析	析マニュアルの値を使用	
	車種別走行	独自に設定し		
	経費原単位	算出根拠を添		
		中央分離帯(の有無を考慮	
	便益算定		の有無を考慮しない	
	———— 走行時間短縮∙走	考慮しない	7 H MC - J MEX C G-V	
		考慮する		
	事故減少以外の便		. 算出根拠を添付すること)	_
	益			
	その他	<u> </u>		

			項目	チェック欄
		詳細事業計画	国による値を採用	
	事業費	標準投資パタ		
		その他(供用	まで残事業費を等配分した)	
	維持管理費	維持管理費の設	と定根拠を記載	
	雅拉吕坦良	中村河川国道	直事務所の実績値より設定	
	雪寒費	積雪地域また	とは寒冷地域である	
費	 	考慮しない		.
用		考慮する		
の	、// =+ / 关 ロク aby / 井 ノミ/ニ		事業費を考慮	
算定	当該道路整備が行われない場合の費		維持管理費を考慮	
疋	用		当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考えた。	方を記載(対策内容、費用等
	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	考慮する 場合のみ		
	l			
	その他			
	l			
4.	その他			

費用の現在価値算定表

【事業全体】 箇所名:片坂バイパス 維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

固川省・川水ハイハハ					0.12	進及(NIII) 6.1	0.73
		割戻率	GDP		(億円)	維持管理費	貴(億円)
年次	年度	(基準年: H28)	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-14年目	H 17	1. 5395	99. 6	0. 19	0. 27		
-13年目	H 18	1. 4802	98. 7	0. 38	0. 53		
-12年目	H 19	1. 4233	97. 6	6. 18	8. 41		
-11年目	H 20	1. 3686	96. 8	9. 39	12. 39		
-10年目	H 21	1. 3159	95. 6	8. 63	11. 09		
-9年目	H 22	1. 2653 1. 2167	93. 7	9.89	12. 46		
-8年目 -7年目	H 23 H 24	1. 1699	92. 1 91. 3	15. 30 17. 17	18. 86 20. 52		
-6年目	H 25	1. 1249	91. 1	36. 57	42. 13		
-5年目	H 26	1. 0816	93. 3	42. 39	45. 85		
<u> </u>	H 27	1. 0400	93. 3	44. 61	46. 40		
-3年目	H 28	1. 0000	93. 3	32. 60	32. 60		
-2年目	H 29	0. 9615	93. 3	10.84	10. 43		
-1年目	H 30	0. 9246	93. 3	0. 37	0. 34		
供用開始年次	H 31	0. 8890	93. 3			0. 68	0. 60
1年目	H 32	0. 8548	93. 3			0. 68	0. 58
2年目	H 33	0. 8219	93. 3			0. 68	0. 56
3年目	H 34	0. 7903	93. 3			0. 68	0. 54
4年目	H 35 H 36	0. 7599	93. 3 93. 3			0. 68 0. 68	0. 52
5年目 6年目	H 36 H 37	0. 7307 0. 7026	93. 3			0. 68	0. 50 0. 48
7年目	H 38	0. 7026	93. 3			0. 68	0. 46
8年目	H 39	0. 6496	93. 3			0. 68	0. 44
9年目	H 40	0. 6246	93. 3			0. 68	0. 42
10年目	H 41	0.6006	93. 3			0. 68	0. 41
11年目	H 42	0. 5775	93. 3			0. 68	0. 39
12年目	H 43	0. 5553	93. 3			0. 68	0. 38
13年目	H 44	0. 5339	93. 3			0. 68	0. 36
14年目	H 45	0. 5134	93. 3			0. 68	0. 35
15年目	H 46	0. 4936	93. 3			0. 68	0. 34
16年目	H 47 H 48	0. 4746 0. 4564	93. 3 93. 3			0. 68 0. 68	0. 32 0. 31
17年目 18年目	H 48 H 49	0. 4388	93. 3			0. 68	0. 31
19年目	H 50	0. 4220	93. 3			0. 68	0. 30
20年目	H 51	0. 4057	93. 3			0. 68	0. 28
21年目	H 52	0. 3901	93. 3			0. 68	0. 27
22年目	H 53	0. 3751	93. 3			0. 68	0. 26
23年目	H 54	0. 3607	93. 3			0. 68	0. 25
24年目	H 55	0. 3468	93. 3			0. 68	0. 24
25年目	H 56	0. 3335	93. 3			0. 68	0. 23
26年目	H 57	0. 3207	93. 3			0. 68	0. 22
27年目	H 58	0. 3083	93. 3			0. 68	0. 21
28年目	H 59	0. 2965	93. 3			0. 68	0. 20
29年目 30年目	H 60 H 61	0. 2851 0. 2741	93. 3 93. 3			0. 68	0. 19 0. 19
30年日 31年日	H 61	0. 2741	93. 3			0. 68 0. 68	0. 19
32年目	H 63	0. 2534	93. 3			0. 68	0. 18
33年目	H 64	0. 2437	93. 3			0. 68	0. 17
34年目	H 65	0. 2343	93. 3			0. 68	0. 16
35年目	H 66	0. 2253	93. 3			0. 68	0. 15
36年目	H 67	0. 2166	93. 3			0. 68	0. 15
37年目	H 68	0. 2083	93. 3			0. 68	0. 14
38年目	H 69	0. 2003	93. 3			0. 68	0. 14
39年目	H 70	0. 1926	93. 3			0. 68	0. 13
40年目	H 71	0. 1852 0. 1780	93. 3 93. 3			0. 68	0. 13 0. 12
41年目 42年目	H 72 H 73	0. 1780	93. 3			0. 68 0. 68	0. 12
43年目	H 74	0. 1712	93. 3			0. 68	0. 12
44年目	H 75	0. 1583	93. 3			0. 68	0. 11
45年目	H 76	0. 1522	93. 3			0. 68	0. 10
46年目	H 77	0. 1463	93. 3			0. 68	0. 10
47年目	H 78	0. 1407	93. 3			0. 68	0. 10
48年目	H 79	0. 1353	93. 3			0. 68	0.09
49年目	H 80	0. 1301	93. 3	-3. 34	-0. 43	0. 68	0. 09
合 計				231. 18	261.85	34. 00	13. 55
単純事業費計				234. 52		34. 00	
1 40 3 A ACHI						21.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

【残事業】 筒所名:片坂バイパス 維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円) 延長(km)

固所名:「「吸ハイハス					単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
				vic -+-	0.12	6.1	0.73
<i>-</i>	<i></i>	割戻率	GDP	事業費	(億円)	維持管理	
年次	年度	(基準年: H28)	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-2年目	H 29	0. 9615	93. 3	10. 84	10. 43		
-1年目	H 30	0. 9246	93. 3	0. 37	0. 34	0.00	0.00
供用開始年次	H 31	0.8890	93. 3			0. 68	0.60
1年目	H 32	0. 8548	93. 3			0. 68	0. 58
2年目	H 33	0.8219	93. 3			0. 68	0. 56
3年目	H 34	0. 7903	93. 3			0. 68	0. 54
4年目	H 35	0. 7599	93. 3			0. 68	0. 52
5年目	H 36	0. 7307	93. 3			0. 68	0. 50
6年目	H 37	0. 7026	93. 3			0. 68	0. 48
7年目	H 38	0.6756	93. 3 93. 3			0. 68 0. 68	0. 46
8年目	H 39 H 40	0. 6496 0. 6246					0. 44 0. 42
9年目	H 40 H 41		93. 3			0. 68 0. 68	
10年目 11年目	H 42	0. 6006 0. 5775	93. 3 93. 3			0. 68	0. 41 0. 39
12年目	H 43	0. 5553	93. 3			0. 68	0. 39
13年目	H 44	0. 5339	93. 3			0. 68	0. 36
14年目	H 45	0. 5134	93. 3			0. 68	0. 35
15年目	H 46	0. 4936	93. 3			0. 68	0. 34
16年目	H 47	0. 4746	93. 3			0. 68	0. 32
17年目	H 48	0. 4564	93. 3			0. 68	0. 31
18年目	H 49	0. 4388	93. 3			0. 68	0. 30
19年目	H 50	0. 4220	93. 3			0. 68	0. 29
20年目	H 51	0. 4057	93. 3			0. 68	0. 28
21年目	H 52	0. 3901	93. 3			0. 68	0. 27
22年目	H 53	0. 3751	93. 3			0. 68	0. 26
23年目	H 54	0. 3607	93. 3			0. 68	0. 25
24年目	H 55	0. 3468	93. 3			0. 68	0. 24
25年目	H 56	0. 3335	93. 3			0. 68	0. 23
26年目	H 57	0. 3207	93. 3			0. 68	0. 22
27年目	H 58	0. 3083	93. 3			0. 68	0. 21
28年目	H 59	0. 2965	93. 3			0. 68	0. 20
29年目	H 60	0. 2851	93. 3			0. 68	0. 19
30年目	H 61	0. 2741	93. 3			0. 68	0. 19
31年目	H 62	0. 2636	93. 3			0. 68	0. 18
32年目	H 63	0. 2534	93. 3			0. 68	0. 17
33年目	H 64	0. 2437	93. 3			0. 68	0. 17
34年目	H 65	0. 2343	93. 3			0. 68	0. 16
35年目	H 66	0. 2253	93. 3			0. 68	0. 15
36年目	H 67	0. 2166	93. 3			0. 68	0. 15
37年目	H 68	0. 2083 0. 2003	93. 3			0. 68	0. 14 0. 14
38年目 39年目	H 69 H 70		93. 3 93. 3			0. 68	
40年目	H 70 H 71	0. 1926 0. 1852	93. 3			0. 68 0. 68	0. 13 0. 13
41年目	H 72	0. 1780	93. 3			0. 68	0. 13
42年目	H 73	0. 1712	93. 3			0. 68	0. 12
43年目	H 74	0. 1712	93. 3			0. 68	0. 12
44年目	H 75	0. 1583	93. 3			0. 68	0.11
45年目	H 76	0. 1522	93. 3			0. 68	0. 11
46年目	H 77	0. 1463	93. 3			0. 68	0. 10
47年目	H 78	0. 1407	93. 3			0. 68	0. 10
48年目	H 79	0. 1353	93. 3			0. 68	0. 09
49年目	H 80	0. 1301	93. 3			0. 68	0. 09
合計				11. 21	10. 77	34. 00	13. 55
単純事業費計	'			11. 21		34. 00	
半 邢尹未頂訂				11. 21		34.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

2	
1	
납	
**	
*	

	, GDP	割戻率 GDP	割戻率(GDP	別伸び率 割戻率 GDP	総走行台和の年次別伸び率 割戻率 GDP
デフレータ 無田声類 小型信物	ドンレータ 乗田申豁) ボフレータ #田申粞 #田申粞 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	: H22) デフレータ デフレータ 番田由粞	(四国ブロック: H22) デフレータ 小型管物 単温信物 全 車 毎日申結	: H22) デフレータ デフレータ 番田由粞
93. 3 8. 69	99258 0.8890 93.3 8.69	9 0. 99258 0. 8890 93. 3 8. 69	0.99469 0.99258 0.8890 93.3 8.69	0.98871 0.99469 0.99258 0.8890 93.3 8.69	0.99361 0.98871 0.99469 0.99258 0.8890 93.3 8.69
8548 93.3 8.63	99252 0.8548 93.3 8.63	0. 99252 0. 8548 93. 3 8. 63	0.99466 0.99252 0.8548 93.3 8.63	0.98858 0.99466 0.99252 0.8548 93.3 8.63	99357 0.98858 0.99466 0.99252 0.8548 93.3 8.63
0.8219 93.3 8.59 1.89 0.7903 93.3 8.55 1.87	99416 0.8219 93.3 8.59 99412 0.7903 93.3 8.55	0.99416 0.8219 93.3 8.59 0.99412 0.7903 93.3 8.55	0. 99856 0. 99416 0. 8219 93. 3 8. 59 0. 99856 0. 99412 0. 7903 93. 3 8. 55	0.98954 0.99856 0.99416 0.8219 93.3 8.59 8.59 0.98942 0.99856 0.99412 0.7903 93.8 8.55	98954 0.99856 0.99416 0.8219 93.3 8.59 8.59 98420 0.99856 0.99412 0.7903
93. 3 8. 50	99409 0.7599 93.3 8.50	0.99409 0.7599 93.3 8.50	0.99856 0.99409 0.7599 93.3 8.50	0.98931 0.99856 0.99409 0.7599 93.3 8.50	99509 0. 98931 0. 99856 0. 99409 0. 7599 93. 3 8. 50
7307 93.3 8.	99406 0. 7307 93. 3	0. 99406 0. 7307 93. 3	0.99856 0.99406 0.7307 93.3	0. 98920 0. 99856 0. 99406 0. 7307 93. 3	99507 0.98920 0.99856 0.99406 0.7307 93.3
	9940Z 0.70Z0 93.3	0.99402 0.7020 95.5	0.99830 0.99402 0.7020 93.3	0.98908 0.99830 0.99402 0.7020 95.3	98908 U. 99850 U. 9940Z U. 70Z0 95. 5 08806 D. 00855 D. 00308 D. 6756 03. 3
0. 6496 93. 3 8. 34	99395 0.6496 93.3	0.99395 0.6496 93.3	0.99855 0.99395 0.6496 93.3	0.98883 0.99855 0.99395 0.6496 93.3	99500 0, 98883 0, 99855 0, 99395 0, 6496 93.3
6246 93.3	99391 0. 6246 93. 3	0.99391 0.6246 93.3	0.99855 0.99391 0.6246 93.3	0.98871 0.99855 0.99391 0.6246 93.3	99497 0.98871 0.99855 0.99391 0.6246 93.3
6006 93.3	7 0. 6006 93. 3	0.99387 0.6006 93.3	0. 99855 0. 99387 0. 6006 93. 3	0. 98858 0. 99855 0. 99387 0. 6006 93.3	0. 98858 0. 99855 0. 99387 0. 6006 93.3
93.3	0.5//5 93.3	0.99384 0.57/5 93.3	0.99855 0.99384 0.5775 93.3	0.98845 0.99855 0.99384 0.5775 93.3	0.98845 0.99855 0.99384 0.5775 93.3
0. 5555 0. 5330 0. 5330 0. 15	99200 0.3333 00300 0.5330 03.3	0. 99200 0. 5555 95. 5	1.001/3 0.99200 0.5555 95.5	0.89523 1.00173 0.89200 0.3553 95.5	1.001/3 0.99200 0.5555 95.5
5134 03.3	0.5539	0. 99200 0. 9339 0. 00103 0. 5134 03. 3	1.00173 0.00103 0.5134 03.3	0.39310 1.001/3 0.39200 0.3339 93.3	0.39310 1.001/3 0.39200 0.3339 93.3
4936 93.3	0.0134 93.3	0 99187 0 4936 93.3	1 00172 0 99187 0 4936 93.3	0.99309 1.00172 0.99199 0.5154 95.5	0.99309 1.00172 0.99199 0.5154 95.5
93. 3	0. 4746 93. 3	0.99180 0.4746 93.3	1.00172 0.99180 0.4746 93.3	0.99304 1.00172 0.99180 0.4746 93.3	0.99304 1.00172 0.99180 0.4746 93.3
93. 3	99173 0. 4564 93. 3	2 0. 99173 0. 4564 93. 3	1.00172 0.99173 0.4564 93.3	0. 99299 1. 00172 0. 99173 0. 4564 93. 3	98996 0. 99299 1. 00172 0. 99173 0. 4564 93. 3
93. 3	0. 4388 93. 3	0.99167 0.4388 93.3	1.00171 0.99167 0.4388 93.3	0.99294 1.00171 0.99167 0.4388 93.3	98986 0.99294 1.00171 0.99167 0.4388 93.3
3 7.58	0. 4220 93. 3 7. 58	0.99160 0.4220 93.3 7.58	1.00171 0.99160 0.4220 93.3 7.58	0.99289 1.00171 0.99160 0.4220 93.3 7.58	98975 0.99289 1.00171 0.99160 0.4220 93.3 7.58
93.3	0.405/ 93.3 /.50	0.99152 0.405/ 93.3 /.50	1,001/1 0,99152 0,405/ 93.3 /.50	0.99284 .001/1 0.99152 0.405/ 93.3 /.50	98965 0.99284 1.001/1 0.99152 0.405/ 93.3 /.50
93.3 7.35	0. 3901 95. 3 7. 45	0.99145 0.5901 95.5 1.45 0.00138 0.3751 03.3 7.35	1.00170 0.99145 0.3901 95.3 7.43	0.892/9 1.001/0 0.89142 0.8901 85.5 7.45 0.8974 1.00170 0.99138 0.3751 93.3 7.35	0.992/9 1.001/0 0.99149 0.3901 93.3 7.35 0.3901 0.3
93.3	0.3607 93.3	0.99130 0.3607 93.3	1,00170 0,99130 0,3607 93.3	0.99268 1.00170 0.99130 0.3607 93.3	0.99268 1.00170 0.99130 0.3607 93.3
3468 93.3	0.3468 93.3	0. 99123 0. 3468 93. 3	1. 00170 0. 99123 0. 3468 93. 3	0.99263 1.00170 0.99123 0.3468 93.3	98920 0. 99263 1. 00170 0. 99123 0. 3468 93. 3
93. 3	0.3335 93.3	0.99115 0.3335 93.3	1.00169 0.99115 0.3335 93.3	0.99257 1.00169 0.99115 0.3335 93.3	0.99257 1.00169 0.99115 0.3335 93.3
93.3	0.3207 93.3	0.99107 0.3207 93.3	1.00169 0.99107 0.3207 93.3	0.99252 1.00169 0.99107 0.3207 93.3	1.00169 0.99107 0.3207 93.3
0.2965 93.3 6.88	0.2065 93.3	0.99091 0.2965 93.3	1,00109 0,99099 0,9065 95.5	0.99240 1.00168 0.99099 0.3065 93.3	0.99240 1.00168 0.99099 0.3065 93.3
93. 3	0. 2851 93. 3	0.99082 0.2851 93.3	1.00168 0.99082 0.2851 93.3	0.99235 1.00168 0.99082 0.2851 93.3	98858 0.99235 1.00168 0.99082 0.2851 93.3
1 93.3	0. 2741 93. 3	0.99074 0.2741 93.3	9 1.00168 0.99074 0.2741 93.3	5 0.99229 1.00168 0.99074 0.2741 93.3	5 0.99229 1.00168 0.99074 0.2741 93.3
0. 2636 93. 3 6. 64	0. 2636 93. 3	0.99065 0.2636 93.3	3 1.00168 0.99065 0.2636 93.3	0. 99223 1. 00168 0. 99065 0. 2636 93. 3	3 1.00168 0.99065 0.2636 93.3
93. 3	0.2534 95.3	0.99030 0.2534 95.3	1.00167 0.99030 0.2334 93.3	0.8921/ 1.0010/ 0.99050 0.2534 95.5	0.8921/ 1.0010/ 0.99050 0.2534 95.5
2343 93.3	0, 2343 93, 3	0.99038 0.2343 93.3	1,00167 0,99038 0,2343 93,3	0.99204 1.00167 0.99038 0.2343 93.3	98789
0. 2253 93. 3 6. 33	99029 0. 2253 93. 3	0.99029 0.2253 93.3	1.00167 0.99029 0.2253 93.3	0.99198 1.00167 0.99029 0.2253 93.3	98774 0.99198 1.00167 0.99029 0.2253 93.3
2166 93.3	0. 2166 93. 3	0.99019 0.2166 93.3	1.00166 0.99019 0.2166 93.3	0.99191 1.00166 0.99019 0.2166 93.3	98759 0.99191 1.00166 0.99019 0.2166 93.3
93. 3	0. 2083 93. 3	0.99010 0.2083 93.3	1.00166 0.99010 0.2083 93.3	0.99185 1.00166 0.99010 0.2083 93.3	98743 0.99185 1.00166 0.99010 0.2083 93.3
93. 3	0. 2003 93. 3	0.99000 0.2003 93.3	1.00166 0.99000 0.2003 93.3	0.99178 1.00166 0.99000 0.2003 93.3	98727 0.99178 1.00166 0.99000 0.2003 93.3
0. 1926 93. 3 6. 01	98990 0.1926 93.3	0. 98990 0. 1926 93. 3	1.00165 0.98990 0.1926 93.3	0.991/1 1.00165 0.98990 0.1926 93.3	98/11 0.991/1 1.00165 0.98990 0.1926 93.3
90.0	0. 1002	0.90979 0.1002	1 00165 0 00060 0 1780	0.99104 1.00103 0.90979 0.1032 0.00157 1.00165 0.00060 0.1700	90094 U. 99104 I. 00100 U. 90979 U. 1002 90. 0
0.1719 03.3 5.78	0.1700 93.3	0.98909 0.1700 95.5	1.00105 0.96909 0.1760 95.5	0.99137 1.00103 0.98909 0.1760 93.3	0.99137 1.00103 0.98909 0.1780 93.3
	90930 0.1/12	0.90930 0.1/12 93.3	1.00103 0.30303 0.1712 35.3	0.98 3171.0 0.9898.0 0.1011 0.188.0 0 0.000 1 0.100 0	900039 0.99100 1.00100 0.90900 0.1712 90.0
0. 1640 93. 3 5. 70	98947 U. 1646 93. 3	0.98947 0.1640 93.3	1.00104 0.98947 0.1040 93.3	0.99143 1.00164 0.9894/ 0.1646 93.3	99143 1.00104 0.98947 0.1040 93.3
93.3	0.1522 93.3 5.	0.98925 0.1582 93.3 5	1.00104 0.98930 0.1363 93.3 5.	0.89133 1.00104 0.86830 0.1363 93.3 3.	98022 0.39133 1.00104 0.38330 0.1363 93.3 3.0 93.4 98603 0.990138 1.00164 0.98925 0.1562 93.3 5
0 1463 93 3 5 46	0 1463 93 3 5	0.98913 0.1463 93.3 5	1 00164 0 98913 0 1463 93 3 5	0 99120 1 00164 0 98913 0 1463 93 3 5	98583 0 99120 1 00164 0 98913 0 1463 93 3 5
93.3 5.	0.1407 93.3 5.	0,98901 0,1407 93,3 5,	1,00163 0,98901 0,1407 93,3 5,	0.99112 1.00163 0.98901 0.1407 93.3 5.	98563 0.99112 1.00163 0.98901 0.1407 93.3 5.
93.3 5.	98889 0.1353 93.3 5.	0.98889 0.1353 93.3 5.	1,00163 0,98889 0,1353 93.3 5.	0.99104 1.00163 0.98889 0.1353 93.3 5.	98542 0.99104 1.00163 0.98889 0.1353 93.3 5.
1 93. 3	08876 0 1301 G2 3 F	2 0 00 1001 0 3200 0 03	1 0 00 1001 0 01000 0 001000 1	1 0 00 1001 0 02000 0 00100 1 00000 0	
	30070 0.1301	63 0.98876 0.1301 93.3	1.00163 0.988/6 0.1301 93.3	0.99096 1.00163 0.98876 0.1301 93.3	98520 0.99096 1.00163 0.98876 0.1301 93.3 5.

2	
1	
납	
**	
*	

便益の現在価値算定表	生価値	[算定表			【残事業】			箇所名:片坂バイパ	坂バイパス												
年次	年度	総	行台和の金	総走行台和の年次別伸び率	樹	割戻率	d0b		开	走行時間短縮便益 (億円/年)	1 /18			走行	走行費用減少便益 (億円/年)	棋		事故減少便益 (億円/年)	少便苗/年)	合計 (億円/年)	
	基準年 78	1)	(四国ブロック: H22) 小型管物 華通信物	ック: H22) 単海貨物	. 4	!	<u>ال</u>		小形心地	市海信物	#	現在価値	華田書籍	小型信息	申诵证为	‡ ©	現在価値	@	現在価値のメイク	便益合計	現在価値割巨率4%
完成供用開始年次	H 31	99361	0.98871	0.99469	96	3 0.8890	93. 3	8.69	1.93	2. 67	13. 29	11.81	E	0. 29	0.47	7	1.83	0.68	0.61	16.03	14. 25
1年目	Н 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252			8. 63	1.91	2. 66	13. 20	11. 28	1. 28	0. 29	0.47	2.04	1.74	0.68	0.58	15.92	13.61
2年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.8219	93.3	8.59	1.89	2. 65	13. 13	10. 79	1. 28	0. 29	0.47	2.03	1.67	0. 68	0.56	15.84	13.02
4年日	п 34 Н 35	0.99509	0. 98931	0.99856				8, 50	1.85		13.00	9.88	1.26	0. 28	0.46	2.02	1.53	0.07		15.68	11, 91
5年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0			8. 46	1.83	2. 64	12. 93	9. 45	1.26	0. 28	0.46	2.00	1.46	0.66		15. 60	11. 40
6年目	Н 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	2 0. 7026	26 93. 3	8. 42	1.81	2.64	12.87	9.04	1. 25		0.46	1.99	1.40	99 '0	0.46	15. 52	10.90
7年目	Н 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398			8.38	1. 79	2. 64	12.80	8. 65	1. 24	0. 27	0.46	1.98	1.34	0.66	0.44	15. 44	10. 43
8年目		0.99500	0. 98883	0.99855	0.99395			8.34	1.77	2. 63	12. 74	8. 27	1. 24	0. 27	0. 46	1.97	1. 28	0.65	0. 42	15.36	9. 98
9年目		0.99497	0.98871	0.99855	0.99391			8. 29	1.75		12. 67		1. 23	0. 27	0. 46	1.96	1. 22	0. 65	0.40	15. 28	9.54
10年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.6006	93.3	8. 25	1. /3	2. 62	12. 61	7.24	1. 23	0. 26	0.46	1 94	1 17	0.64	0.39	15. 20	9. 13
12年目		0.99044	0. 99323	1, 00173	0.99206	_		8. 13	1.70		12. 45	6.92	1. 21	0.26	0.46	1.93	1.07	0.63		15.02	8.34
13年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173				8.05	1.69		12.37	6.60	1. 20	0.26	0.46	1.91	1.02	0.63		14.91	7.96
14年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193			7.97	1.68	2. 63	12. 28	6.31	1.19	0.25	0.46	1. 90	0.98		0.32	14.81	7. 60
15年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0	_		7.90	1.66	2.64	12. 20		1.17	0. 25	0.46	1.89	0.93		0.31	14. 71	7. 26
16年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180			7.82	1.65	2.64	12. 11	5. 75	1.16	0.25	0.46	1.88	0.89	0.61	0. 29	14. 60	6.93
17年目	Н 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173			7. 74	1.64		12.03		1.15			1.86			0. 28		6.62
18年目		0.98986	0.99294	1.00171	0.99167			7. 66	1.63		11.94		1.14	0. 25	0. 47	1.85		09 .0		14. 40	6.32
19年目		0.98975	0. 99289	1. 00171	0.99160	_	93. 3	7. 58	1.62	2. 66	11.86	_	1.13	0. 25	0. 47	1.84	0. 78	09 .0	0. 25	14. 29	6.03
20年目		0.98965	0.99284	1,001/1	0.99152			06.7	1.61		11. //		1.12	0. 24	0.47	1.83	0. /4	0.59		14. 19	5. 76
21年目		0. 98954	0.99279	1.001/0	0.99145			7 25	1.59	2.6/	11. 68	4.56	0 . 10	0. 24	0.47	1.81	0. /1	0.59	0. 23	12.09	5.50
73年日	H 54	0. 98943	0.99274	1.00170	0.99130	0.3607	93. 3	7.97	1.57	2.07	11.00	4. 35	1.09	0.24	0.47	1 79	0.08	0.58	0. 22	13.88	5. 23
24年目	H 55	0.98920	0.99263	1 00170	0.99123	L	- 100	7, 19	1.56		11. 43		1.07	0.24	0.47	1 78		0.57			4. 78
25年目		0.98908	0.99257	1.00169				7.11	1.55	2. 68	11.34	3. 78	1.06	0.24	0.47	1. 76	0.59	0.57	0. 19	13.67	4. 56
26年目	1 22	0.98896	0.99252	1.00169	l	7 0.3207	7 93.3	7.03	1.54	2. 69	11. 26	3.61	1.05	0. 23	0.47	1. 75	0.56	0.56	0. 18	13.57	4.35
27年目	H 58	0.98884	0.99246	1. 00169				6.95	1.52	2. 69	11.17	3.44	1.03	0. 23	0.47	1. 74	0.54	0.56	0.17	13. 47	4. 15
28年目		0. 98871	0.99240	1. 00168		_		6. 88	1.51	2. 70	11.09	3. 29	1.02	0. 23	0. 47	1. 73	0.51	0.55	0.16	13.36	3.96
29年目		0. 98858	0.99235	1. 00168				6.80	1.50	2. 70	11.00	3.14	1.01	0. 23	0. 47	1. 71	0. 49	0. 55	0. 16	13. 26	3.78
30年目		0.98845	0.99229	1.00168				6. 72	1.49	2. /1	10.91		1.00	0. 23	0. 48	1. /0	0.4/	0.54		13.16	3.61
31年日	79 H	0. 98831	0. 99223	1. 00168	0.99065	0.2636	93. 3	6.64	1. 48	2. /1	10.83	2.85	0.99	0. 22	0. 48	1.69	0. 44	0.54	0. 14	13.05	3. 44
33年日		0. 900 10	0.99217	1 00167	0.99030			6.30	1 1/6	27.7	10.74	27.72	0.90	0. 22	0. 0	1 66	0.42	0.0	0.0	12.95	3 13
34年目		0. 98789	0. 99204	1. 00167	0. 99038			6. 40	1. 44	2. 72	10.57	2. 48	0.95	0. 22	0. 48	1.65	0.39	0.52	0. 12	12. 75	2.99
35年目	99 H	0.98774	0.99198	1.00167				6.33	1.43	2.73	10.49	2.36	0.94	0. 22		1.64			0.12		2.85
36年目	L9 H	0.98759	0.99191	1.00166	0	9 0.2166		6. 25	1.42	2. 73	10. 40	2. 25	0.93		0. 48	1. 62		0.51	0.11	12. 54	2. 72
37年目	H 68	0. 98743	0.99185	1. 00166	0			6. 17	1.41		10.32		0.92		0. 48	1.61					2. 59
38年日		0.98/2/	0.991/8	1.00166				6.09	1.40		10. 23	2.05	0.91	0. 21	0. 48	1. 60	0.32	0.50	0. 10	12.33	2. 4/
39年日	и 17	0.98/11	0.99171	1.00165	0.98990	0.1920	93. 3	6.01	1.39	2. 75	10.14	1.95	0.89	0.21	0. 48	1. 59	0.31	0. 00	0.0	12. 23	2.30
41年目	H 72	72986	0.99157	1,00165	Ö			58.5	1.36	- II	9 97	1.78	0. 87		0.48	1.56		0.49		12.02	2. 23
42年目	Н 73	98659	0.99150	1.00165			93. 3	5. 78	1.35	2.76	9.89	1.69	0.86	0.21	0.48	1.55	0.27	0.48	0.08	11.92	2.04
43年目	H 74	_	0.99143	1.00164	0	7 0.1646		5. 70	1.34	2.77	9.80	1.61		0. 20	0.49	1.54	0.25	0. 48	0.08	11.82	1.94
44年目	Н 75	0.98622	0.99135	1.00164	0	5 0.1583		5.62	1.33	2. 77		1.54				1. 52	0.24	0.47	0.07	11. 71	1.85
45年目	9/ Н	0.98603	0.99128	1.00164			2	5.54	1.32	2. 77	9. 63	1. 47	0.82	0. 20		1.51	0. 23	0. 47	0.07	11.61	1.77
	TZ H		0.99120	1.00164	o,	_		5. 46	1.30	2. 78		1. 40	0.81	0. 20	0. 49	1. 50	0. 22			11.51	1. 68
47年目	H 78	98563	0.99112	1.00163				5.38	1.29	2. 78		1. 33	0.80	0.20		1. 49	0. 21			11. 40	1.60
48年目	6/ H	0.98542	0.99104	1.00163	0.98889	9 0. 1353	93. 3	5.31	1.28	2. 79	9.37	1.27	0. /9	0.0	0.49	1.47	0. 20	0.45	0.00	11.30	1.53
± 43 † 14	- 1 -		0. 99090	. 00100	0. 3007			3. 23 255 11	17. 27			739 10	59.77	11 00	02.64	08 30	36.04	28 50	12 07	77 789	787 10
п	<u>π</u>	1							۲۵.01	104. 02		61.007	04.11	11. 30	to.07	00.00			17.0,	11.11	201.10

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	片坂パイパス	2	6.1km

■事業費内訳 <全体事業費>

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費					21,359	
	改良費				5,036	
		土工	m3	1,317,084	1,427	切土(489,595m3)、盛土(459,827m3)、残土処理(261,373m3)
		軟弱地盤改良工	m3	-	-	
		法面工	m¹	77,456	139	切土法面(28,327m3)、盛土法面(53,699m3)
		擁壁工	뉚	1	427	補強土壁、大型ブロック積、ブロック積、重カ式擁壁、逆T型擁壁、もたれ擁壁、張りコン
		管渠工	r	2,140	19	
		函渠工	m	350	305	
		排水工	m	13,275	264	
		中央分離帯工	m	5,329	40	
		雑工	뉩	1	2,415	工事用道路等
	橋梁費				2,573	
		100m以上	r	381	2,194	PC橋 2橋
		100m未満	m	110	379	PC橋 2橋
	トンネル費				11,300	
		NATM	m	3,517	11,300	
		シールド	m	_	-	
	IC・JCT費				1,361	
		IC	箇所	2	1,361	四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				607	
		車道舗装	m³	55,263	601	車道舗装(55,263㎡)、側道舗装(1,762㎡)
		側道舗装	m¹	1,762	6	
	付帯施設	費			483	
		交通管理施設工	式	1	483	防護柵工、立入防止柵、路面標示
		遮音壁	m	-	-	
②用地及補	[337	
	用地費		m¹		334	
		宅地	m¹	2,979	86	
		田畑	m³	41,255	182	
		山林·原野	m³	181,830	66	
		その他	m¹	-		
	補償費		式	1	3	
③間接経費	<u>.</u>		式	1	3,304	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費	<u>.</u>				25,000	

【単価等について】

〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	片坂パイパス	2	6.1km

■事業費内訳 <残事業費>

①工事費 961 故良費 419 生工 m3 100,000 279 切土(50,000m3)、強土(30,000m3)、残土処理(20,000m3) 被弱地盤改良工 m3 0 0 接壁工 式 1 30 切土法面(1,000m2)、盛土法面(1,000m2) 横壁工 式 1 30 切土法面(1,000m2)、盛土法面(1,000m2) 横壁工 式 1 30 切土法面(1,000m2)、盛土法面(1,000m2) 横壁工 m 0 0 排水工 m 0 0 排水工 m 0 0 中央分離帯工 m 0 0 内容標 2 0 0 日の間以上 m 0 0 日の間と m 0 0 日の間に 施所 2 80 0 日の日の日のに 2 80 0 0 日の日の日の日のに 0 0 0 0 日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の	区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
土工	①工事費					961	
軟弱地盤改良工 m3 0 0 0 法面工 mi 2,000 30 切土法面(1,000m2)、盛土法面(1,000m2)		改良費				419	
法面工			土工	m3	100,000	279	切土(50,000m3)、盛土(30,000m3)、残土処理(20,000m3)
操壁工 式 1 30 重力式機壁、もたれ機壁、張りコン 管渠工 m 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			軟弱地盤改良工	m3	0	0	
管渠工 m 20 1 函渠工 m 0 0 排水工 m 0 0 中央分離帯工 m 0 0 村業費 0 0 100m以上 m 0 0 100m未満 m 0 0 NATM m 0 0 シールド m - - IC 場所 2 80 四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC JCT 箇所 - - 舗装費 200 車道舗装 車道舗装 m 200 車道舗装 側道舗装 m 0 0 付帯施設費 262 次通管理施設工 式 1 定音壁 m - - 2用地及補償費 1 - 用地費 m 0 0 E地 m 0 0 田畑 m 0 0			法面工	m¹	2,000	30	切土法面(1,000m2)、盛土法面(1,000m2)
極楽工 m 0 0 排水工 m 1,500 79 中央分離帯工 m 0 0 橋梁費 0 工事用道路等 100m以上 m 0 PC橋 2橋 100m未満 m 0 PC橋 2橋 NATM m 0 0 シールド m - - IC・JCT費 80 四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC JCT 箇所 - - - 編装費 200 車道舗装 側道舗装 m 0 0 付帯施設費 262 交通管理施設工 式 1 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 ②用地及補償費 1			擁壁工	式	1	30	重力式擁壁、もたれ擁壁、張りコン
排水工			管渠工	m	20	1	
中央分離帯工 m 0 0 1 1 0 1 1 1 1 1			函渠工	m	0	0	
株工 式 1 0 工事用道路等			排水工	m	1,500	79	
橋梁費 0 0 100m以上 m 0 0 PC橋 2橋 1100m未満 m 0 0 0 PC橋 2橋 2橋 1100m未満 m 0 0 PC橋 2橋 2橋 1100m未満 m 0 0 PC橋 2橋 2橋 1100m未満 m 0 PC橋 2橋 2橋 1100m未満 m 0 PC橋 2橋 2橋 1100m未満 m 1 PC 1100m未満 2橋 1100m未満 1100m未			中央分離帯工	m	0	0	
100m以上 m 0 0 PC橋 2橋 100m未満 m 0 0 PC橋 2橋 100m未満 m 0 0 PC橋 2橋 100m未満 m 0 0 0 PC橋 2橋 100m未満 m 0 0 0 PC橋 2橋 100m上 m 10・JCT費			雑工	式	1	0	工事用道路等
100m未満 m 0 0 PC橋 2橋 トンネル費		橋梁費				0	
トンネル費			100m以上	m	0	0	PC橋 2橋
NATM			100m未満	m	0	0	PC橋 2橋
シールド m - - IC・JCT費 80 四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC IC 箇所 2 80 四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC 舗装費 200 車道舗装 順道舗装 m° 26,000 200 車道舗装 側道舗装 m° 0 0 付帯施設費 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 1 用地費 m° 0 0 宅地 m° 0 0 田畑 m° 0 0		トンネル費				0	
IC・JCT費			NATM	m	0	0	
IC 箇所 2 80 四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC JCT 箇所 - - 舗装費 200 車道舗装 車道舗装 m° 200 車道舗装 側道舗装 m° 0 0 付帯施設費 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m° 0 宅地 m° 0 0 田畑 m° 0 0			シールド	m	-	-	
JCT 箇所		IC・JCT費				80	
舗装費 200 車道舗装 m² 26,000 200 車道舗装 側道舗装 m² 0 0 付帯施設費 262 交通管理施設工 式 1 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m² 0 宅地 m² 0 田畑 m² 0 田畑 m² 0 0 0			IC	箇所	2	80	四万十町西IC、(仮)拳ノ川IC
車道舗装 m² 26,000 200 車道舗装 側道舗装 m² 0 0 付帯施設費 262 交通管理施設工 式 1 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m² 0 宅地 m² 0 田畑 m² 0 日畑 m² 0			JCT	箇所	-	-	
側道舗装 m° 0 0 付帯施設費 262 交通管理施設工 式 1 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m° 0 宅地 m° 0 田畑 m° 0 日畑 m° 0 0 0		舗装費				200	
付帯施設費 262 交通管理施設工 式 1 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m° 0 宅地 m° 0 田畑 m° 0 日畑 0 0			車道舗装	m [‡]	26,000	200	車道舗装
交通管理施設工 式 1 262 防護柵工、立入防止柵、路面標示 遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m² 0 宅地 m² 0 田畑 m² 0 日畑 m² 0			側道舗装	m [‡]	0	0	
遮音壁 m - - ②用地及補償費 1 用地費 m° 0 宅地 m° 0 田畑 m° 0 0 0 日畑 m° 0		付帯施設	費			262	
②用地及補償費 1 用地費 m² 0 宅地 m² 0 田畑 m² 0			交通管理施設工	式	1	262	防護柵工、立入防止柵、路面標示
用地費 m² 0 宅地 m² 0 0 田畑 m² 0 0			遮音壁	m	-	-	
宅地 m² 0 0 田畑 m² 0 0	②用地及補	償費				1	
田畑 m 0 0		用地費		m [‡]		0	
			宅地	m [‡]	0	0	
			田畑	m¹	0	0	
			山林·原野	m¹	0	0	
その他 ㎡ 0 0			その他	m [‡]	0	0	
補償費 式 - 1		補償費		式	_	1	
③間接経費 式 1 249 地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	③間接経費			式	1	249	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費 1,211	全体事業費	<u>.</u>				1,211	

【単価等について】

〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	片坂バイパス	2	6.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.1	850	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,800	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,650	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

様式一1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

			指標チェックの根拠	全 体·費用便益比(3便益)(B/C)=1.03、経済的純現在価値(B-C)=10億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.2%) 残事業:費用便益比(3便益)(B/C)=1.2、経済的純現在価値(B-C)=66億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.2%)		指標チェックの根拠	区間 8、費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間の削減量:330千人・時間/年(979千人・時間/年⇒649千人・時間/年) ※滞損失時間の削減率:3404削減 区間 (当該区間/立ず尺区間) について: (一般国道56号) 送滞損失時間の削減量:315千人・時間/年(386千人・時間/年⇒51千人・時間/年)	態度の改善が期待される	上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待	現道等の路線パスの利便性や快適性の向上が見込まれる (高速パス:しまんとライナー(高知~四万十・足摺・大月)、しまんとブルーライナー(宿毛・四万十~祥 阪・京都)、その他:通院パス(ほかわ病院~大方))		高知龍馬空港までの所要時間の短縮が見込まれる ・ 黒瀬町~高知龍馬空港間の所要時間: 「現況】116分→【窪川佐賀道路供用時】110分(約6分短縮)		高知県西南部における農林水産品 (清水さば等) の流通の利便性向上が見込まれる ・清水漁協~高知龍馬空港間の所要時間: 【現況】167分→【窪川佐賀道路供用時】161分(約6分短縮)	
一般国道56号 窪川佐賀道路	四国地方整備局	●事業採択の前提条件を確認するための指標	本	■ 便益が費用を上回っている	●事業の効果や必要性を評価するための指標	指	● 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待 □ される	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
事業名	事業主体	の前提条件を確認		事業の効率性	果や必要性を評価	政策目標	円滑なモビリ ティの確保						物流効率化の支 援		
Inili.	冊	●事業採択		前提条件	●事業の効	及	t 品 七								

·四万十~神戸·大

1. 活力	都市の再生	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		□ 都中冉生ノロンエノトで文技∮も事業でめる	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	四国8の字ネットワークを形成
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する (4.路線としての位置づけがある場合)	高知市(中央地方生活圏)~四万十市(幡多地方生活圏)を連絡する高規格幹線道路の一部を構成する ・高知市~四万十市間の所要時間:【現況】130分→【窪川佐賀道路供用時】124分(約6分短縮)
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	須崎市(高幡地方生活圏中心都市)~四万十市(幡多地方生活圏中心都市)を最短時間で連絡する路線を構成する ・須崎市~四万十市間の所要時間:【現況】83分→【窪川佐賀道路供用時】77分(約6分短縮)
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	黒潮町~四万十町間のアクセス向上が期待される ・黒潮町~四万十町間の所要時間:【現況】42分→【窪川佐賀道路供用時】36分(約6分短縮)
	個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	観光地へのアクセス向上が期待される(四万十川観光開発、足摺海洋館、西土佐カヌー館等) ・四万十市~高知16間の所要時間:【現況】112分→【窪川佐賀道路供用時】106分(約6分短縮)
		口 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	

2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全でに該口当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		ロ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	□ 対象区間が電線類地中化	
		□ 布街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において 新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	第二次教急医療施設から第三次教急医療施設に転院搬送する際のアクセス向上が期待される 【第二次教急医療施設】くぼかわ病院(四万十町)、幡多けんみん病院(宿毛市) 【第三次教急医療施設】高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院 ・黒潮町佐賀地区~くほかわ病院間の所要時間:【現況】23分→【窪川佐賀道路供用時】20分(約3分短縮)
3. 安全	安全な生活環境 の確保	口 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又 ロ は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交口 通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	た化する集落を解消する	唯一の幹線道路である国道56号(現道)を補完し、孤立の危険性を軽減 ・並行する現道区間の防災点検箇所:17箇所、南海トラフ地震の浸水区域:黒潮町、中土佐町中心部等
		対象区間が、都道府県地域的災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)とし て位置づけあり	国道56号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている
		■ 急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	現道である国道56号が土砂災害等により通行止めになった場合の代替路を形成
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	四国横断自動車道の代替路線を形成
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消さ ■ れる	現道の窪川10~佐賀10間の土砂災害危険箇所18箇所を回避するルートを形成
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からの602排出量	602排出量の削減が見込まれる ・602排出削減量:2.9干t-602/年、602排出削減率:9%(費用便益分析の対象リンク)
	生活環境の改 善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NOX排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量:15.7t-N02/年、N02排出削減率:87%(並行する現道区間)
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量:0. 9t-SPM/年、SPM排出削減率:87%(並行する現道区間)
	-	□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待され ○ る区間がある	
		口 その他、環境や景観上の効果が期待される	

5. その他	その他 他の7 いェかと の関係	□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		ロ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	現道の線形不良箇所を回避するルートを形成 ・曲線半径100m未満の箇所数:11箇所→0箇所

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・そ の他の別
一般国道56号	窪川佐賀道路	L=11. 2 km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
5, 200 ~ 6, 900	2	四国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成28年度	
単純合計	343億円	51億円	394億円
うち残事業分	289億円	51億円	340億円
基準年における 現在価値 (C)	304億円	16億円	320億円
うち残事業分	248億円	16億円	264億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	숨 計			
基 準 年		平成28年度					
供用年		平成37年度					
単年便益 (初年便益)	19億円	3.1億円	1. 2億円	24億円			
基準年における 現在価値(B)	270億円	44億円	16億円	330億円			
うち残事業分	270億円	44億円	16億円	330億円			

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 03
経済的純現在価値(事業全体)	10億円
経済的内部収益率(事業全体)	4. 2%
費用便益比(残事業)	1. 2
経済的純現在価値 (残事業)	66億円
経済的内部収益率 (残事業)	5. 2%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	5, 200~6, 900	±10%	0.9~1.1
事業費	289億円	±10%	0.96~1.1
事業期間	8年	±20%	0.97~1.1

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	5, 200~6, 900	±10%	1.1~1.4
事業費	289億円	±10%	1.1~1.4
事業期間	8年	±20%	1. 2~1. 4

事業名:窪川佐賀道路

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
	改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]		6, 132
①新設・改築退路 窪川佐賀道路 		走行時間※2	[分]		8
: 11	. 2km	走行時間費用※3	[億円/年]		9. 29
	一般国道	交通量	[台/日]	7, 859	2, 163
	56号	走行時間	[分]	22	22
	: 13.1km	走行時間費用	[億円/年]	30. 39	7. 05
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
o –		交通量	[台/日]		
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路	·合計:91.4km	走行時間費用	[億円/年]	67. 99	63. 35

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 115.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	98. 38	79. 69	18. 69

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



事業名:窪川佐賀道路

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設·		交通量 ^{※1}	[台/日]		6, 132
窪川佐	賀道路	走行時間※2	[分]		8
: 11	. 2km	走行時間費用※3	[億円/年]		9. 29
	一般国道	交通量	[台/日]	7, 859	2, 163
	56 号	走行時間	[分]	22	22
	: 13.1km	走行時間費用	[億円/年]	30. 39	7. 05
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
–		交通量	[台/日]		
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路	合計:91.4km	走行時間費用	[億円/年]	67. 99	63. 35

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 115.7km 走行時間	月短縮便益 [億円/年]	98. 38	79. 69	18. 69

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



様式-3②

費用便益分析の条件

事業名: 窪川佐賀道路

(2)

			項目	チェッ	ク欄
		費用便益分析	「マニュアル		
	算出マニュアル	(平成20年1	1月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)		•
		その他]
		分析対象期間	1	50年	∓間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	<u>x</u>	49	%
		基準年次		平成28	8年度
	交通流の	1時点のみ推	·計	■ (H	l42)
	推計時点	複数時点での)推計]
		整備の有無る			
	1#=1 a 15 20		いずれかのみ推計	□有	口無
	推計の状況		いずれかのみの推計とした理由を記載		
		の推計の場合			
		道路交通セン	・サスをベースとした自動車OD表		
	\ #=\!- □!\+	(三段階推定	法)	(H17セ	ンサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリッ	プ調査をベースとした自動車OD表	Г	7
	ODA	(四段階推定	法)	L	J
		その他()		
交		無			
通		有]
流	開発交通量の	1,	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台ト	·リップ・/日
推	考慮	有の場合のみ	考慮した理由を記載		
計					
		QーV式を用り	いた配分]
		転換率式を用	いた配分]
		QーV式と転	換率式の併用による配分		ı
]
		簡易手法			
	配分交通量の		小規模事業である]
	推計手法	簡易手法の 採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない]
		休扒连田	その他()		
		簡易手法の考え	方(将来交通量の設定方法等)		
		その他()]
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		して設定	、」「リンだ汉で入歴主(ノーロコリ		1
			対象路線における実際の交通状況を概ね反映しているため	5	
	速度設定の				
	考え方	最終配分の選			1
		採用理由を記載			_
		その他()]

(3)

			項目	チェック欄
		考慮しない		
	1	考慮する		
	仕口去るの		面的に考慮	
	休日交通の 影響	<u> </u>	対象路線のみ考慮	
	沙 苷	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %
	'	一切ロジル	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方	を記載
	'			
		考慮しない		
	'	考慮する		
	<i>'''</i>		採用した通行止め日数	() 日
	災害等による 通行止めの		採用した通行止め日数の考え方を記載	
	通行正めの 影響	考慮する		
	<i>⊼</i> ∕ 目	場合のみ	とり止め交通を考慮する	
	'		とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	はその考え方を記載
	'			
		考慮しない		
	'	考慮する		
	'		採用した冬期日数	() 目
	冬期交通の		採用した冬期日数の考え方を記載	<u>, </u>
便	影響	考慮する		
益	1	場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係	
の	1		設定の考え方を記載	
算定	1			
疋	交通流推計の	ブロック別・耳	車種別走行台キロの伸び率による設定	
	時点以外の	その他		
	便益の算定	()	
		費用便益分	析マニュアルの値を使用	
	車種別時間	独自に設定し		
	価値原単位	算出根拠を添		
		費用便益分析	析マニュアルの値を使用	
	車種別走行	独自に設定し		
	経費原単位	算出根拠を添		
	'			
	交通事故減少	中央分離帯(の有無を考慮	
	便益算定		の有無を考慮しない	
	走行時間短縮·走	考慮しない	- 17/11C 3/10C 5	
		考慮する		
	事故減少以外の便		, 算出根拠を添付すること)	<u>l</u>
	益			
	その他	1		

			項目	チェック欄
		詳細事業計画	画による値を採用	
	事業費	標準投資パタ	マーンを採用	
		その他(供用	まで残事業費を等配分した)	
	維持管理費	維持管理費の設	は定根拠を記載	
	作可占任具	中村河川国道	直事務所の実績値より設定	
	雪寒費	積雪地域また	は寒冷地域である	
費		考慮しない		
費用		考慮する		
の	小八三十八六四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		事業費を考慮	
算定	当該道路整備が行 われない場合の費		維持管理費を考慮	
た	用	考慮する	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え	方を記載(対策内容、費用等
		考慮する 場合のみ		
	その他			
4.	その他			

費用の現在価値算定表 【_{事業全体}】

箇所名:窪川佐賀道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

回川石、注川性貝坦 斯	1				0.10	延長(Kill) 11.2	<u> </u>
		割戻率	GDP	事業費	(億円)	維持管理	
年次	年度	(基準年: H28)	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-13年目	H 24	1. 1699	91.3	0. 95	1. 14	一小で開催	96日間に
-12年目	H 25	1. 1249	91. 1	4. 19	4. 83		
-11年目	H 26	1. 0816	93. 3	3. 05	3. 30		
-10年目	H 27	1. 0400	93. 3	13. 77	14. 32		
	H 28	1. 0000	93. 3	31. 96	31. 96		
		0. 9615	93. 3		33. 84		
-0年日			93. 3	35. 19			
-7年目	H 30	0. 9246	93. 3	26. 73	24. 71		
-6年目	H 31	0.8890	93. 3	50.03	44. 48		
-5年目	H 32	0. 8548	93. 3	75. 99	64. 95		
-4年目	H 33	0.8219	93. 3	53. 98	44. 37		
-3年目	H 34	0. 7903	93. 3	26. 85	21. 22		
-2年目	H 35	0. 7599	93. 3	11. 11	8. 44		
-1年目	H 36	0. 7307	93. 3	9. 31	6. 80	4 00	. 70
供用開始年次	H 37	0. 7026	93. 3			1. 02	0. 72
1年目	H 38	0. 6756	93. 3			1. 02	0. 69
2年目	H 39	0. 6496	93. 3			1. 02	0. 66
3年目	H 40	0. 6246	93. 3			1. 02	0. 64
4年目	H 41	0.6006	93. 3			1. 02	0. 61
5年目	H 42	0. 5775	93. 3			1. 02	0. 59
6年目	H 43	0. 5553	93. 3			1. 02	0. 57
7年目	H 44	0. 5339	93. 3			1. 02	0. 54
8年目	H 45	0. 5134	93. 3			1. 02	0. 52
9年目	H 46	0. 4936	93. 3			1. 02	0. 50
10年目	H 47	0. 4746	93. 3			1. 02	0. 48
11年目	H 48	0. 4564	93. 3			1. 02	0. 47
12年目	H 49	0. 4388	93. 3			1. 02	0. 45
13年目	H 50	0. 4220	93. 3			1. 02	0. 43
14年目	H 51	0. 4057	93. 3			1. 02	0. 41
15年目	H 52	0. 3901	93. 3			1. 02	0. 40
16年目	H 53	0. 3751	93. 3			1. 02	0. 38
17年目	H 54	0. 3607	93. 3			1. 02	0. 37
18年目	H 55	0. 3468	93. 3			1. 02	0. 35
19年目	H 56	0. 3335	93. 3			1. 02	0. 34
20年目	H 57	0. 3207	93. 3			1. 02	0. 33
21年目	H 58	0. 3083	93. 3			1. 02	0. 31
22年目	H 59	0. 2965	93. 3			1. 02	0. 30
23年目	H 60	0. 2851	93. 3			1. 02	0. 30
24年目	H 61	0. 2741	93. 3			1. 02	0. 28
25年目	H 62	0. 2636	93. 3			1. 02	0. 28
		0. 2534	93. 3				0. 27
26年目	H 63					1. 02	
27年目	H 64	0. 2437	93. 3			1. 02	0. 25
28年目	H 65		93. 3			1. 02	0. 24
29年目	H 66	0. 2253	93. 3			1.02	0. 23
30年目	H 67	0. 2166	93. 3			1. 02	0. 22
31年目	H 68	0. 2083	93. 3			1.02	0. 21
32年目	H 69	0. 2003	93. 3			1.02	0. 20
33年目	H 70	0. 1926	93. 3			1. 02	0. 20
34年目	H 71	0. 1852	93. 3			1. 02	0. 19
35年目	H 72	0. 1780	93. 3			1. 02	0. 18
36年目	H 73	0. 1712	93. 3			1. 02	0. 17
37年目	H 74	0. 1646	93. 3			1. 02	0. 17
38年目	H 75	0. 1583	93. 3			1. 02	0. 16
39年目	H 76	0. 1522	93. 3			1. 02	0. 16
40年目	H 77	0. 1463	93. 3			1. 02	0. 15
41年目	H 78	0. 1407	93. 3			1. 02	0. 14
42年目	H 79	0. 1353	93. 3			1. 02	0. 14
43年目	H 80	0. 1301	93. 3			1. 02	0. 13
44年目	H 81	0. 1251	93. 3			1. 02	0. 13
45年目	H 82	0. 1203	93. 3			1. 02	0. 12
46年目	H 83	0. 1157	93. 3			1. 02	0. 12
47年目	H 84	0. 1112	93. 3			1. 02	0.11
48年目	H 85	0. 1069	93. 3			1. 02	0.11
49年目	H 86	0. 1003	93. 3	-6. 97	-0. 72	1. 02	0.11
<u> </u>	11 00	V. 1020	00.0	336. 15	303. 64	51.00	15. 99
	1				300.07		10.00
単純事業費計				343. 12		51. 00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

【残事業】 筒所名:窪川佐賀道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

【残事業】					維持管理費の単	純単価の算出(消費	貴税相当額含む)
箇所名:窪川佐賀道路	各				単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
	_				0.10	11.2	1.10
	Т	割戻率	GDP	事業費	(億円)	維持管理費	
F.16	<i></i>						
年次	年度	(基準年: H28)	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-8年目	H 29	0. 9615	93. 3	35. 19	33. 84		
-7年目	H 30	0. 9246	93. 3	26. 73	24. 71		
-6年目	H 31	0.8890	93. 3	50. 03	44. 48		
-04日							
-5年目	H 32	0. 8548	93. 3	75. 99	64. 95		
-4年目	H 33	0. 8219	93. 3	53. 98	44. 37		
-3年目	H 34	0. 7903	93. 3	26, 85	21. 22		
	H 35		93. 3		8. 44		
-2年目				11. 11			
-1年目	H 36	0. 7307	93. 3	9. 31	6. 80		
供用開始年次	H 37	0. 7026	93. 3			1. 02	0. 72
1年目	H 38	0. 6756	93. 3			1. 02	0. 69
2年目		0. 6496	93. 3			1. 02	0. 66
3年目	H 40	0. 6246	93. 3			1. 02	0. 64
4年目	H 41	0.6006	93. 3			1. 02	0. 61
5年目	H 42	0. 5775	93. 3			1. 02	0. 59
6年目	H 43	0. 5553	93. 3			1. 02	0. 57
7年目	H 44	0. 5339	93. 3			1. 02	0. 54
8年目	H 45	0. 5134	93. 3			1. 02	0. 52
9年目	H 46	0. 4936	93. 3			1. 02	0. 50
10年目	H 47	0. 4746	93. 3			1. 02	0. 48
11年目	H 48	0. 4564	93. 3			1. 02	0. 47
12年目	H 49	0. 4388	93. 3			1. 02	0. 45
		0. 4220	93. 3				
13年目	H 50					1. 02	0. 43
14年目	H 51	0. 4057	93. 3			1. 02	0. 41
15年目	H 52	0. 3901	93. 3			1. 02	0. 40
16年目	H 53	0. 3751	93. 3			1. 02	0. 38
17年目	H 54	0. 3607	93. 3			1. 02	0. 37
18年目	H 55	0. 3468	93. 3			1. 02	0. 35
19年目	H 56	0. 3335	93. 3			1. 02	0. 34
20年目	H 57	0. 3207	93. 3			1. 02	0. 33
21年目	H 58	0. 3083	93. 3			1. 02	0. 31
22年目	H 59	0. 2965	93. 3			1. 02	0. 30
23年目	H 60	0. 2851	93. 3			1. 02	0. 29
24年目	H 61	0. 2741	93. 3			1. 02	0. 28
25年目	H 62	0. 2636	93. 3			1. 02	0. 27
26年目	H 63	0. 2534	93. 3			1. 02	0. 26
27年目	H 64	0. 2437	93. 3			1. 02	0. 25
28年目	H 65	0. 2343	93. 3			1. 02	0. 24
29年目	H 66	0. 2253	93. 3			1. 02	0. 23
30年目	H 67	0. 2166	93. 3			1. 02	0. 22
31年目	H 68	0. 2083	93. 3			1. 02	0. 21
32年目	H 69	0. 2003	93. 3		<u> </u>	1. 02	0. 20
33年目	H 70	0. 1926	93. 3			1. 02	0. 20
34年目	H 71	0. 1852	93. 3			1. 02	0. 19
OF 도 모					 		
35年目	H 72	0. 1780	93. 3			1. 02	0. 18
36年目	H 73	0. 1712	93. 3			1. 02	0. 17
37年目	H 74	0. 1646	93. 3			1. 02	0. 17
38年目	H 75	0. 1583	93. 3			1. 02	0. 16
					 		
39年目	H 76	0. 1522	93. 3			1. 02	0. 16
40年目	H 77	0. 1463	93. 3		<u> </u>	1. 02	0. 15
41年目	H 78	0. 1407	93. 3			1. 02	0. 14
42年目	H 79	0. 1353	93. 3			1. 02	0. 14
					 		
43年目	H 80	0. 1301	93. 3			1. 02	0. 13
44年目	H 81	0. 1251	93. 3			1. 02	0. 13
45年目	H 82	0. 1203	93. 3			1. 02	0. 12
		0. 1157	93. 3			1. 02	0. 12
46年目					ļ		
47年目	H 84	0. 1112	93. 3			1. 02	0. 11
48年目	H 85	0. 1069	93. 3			1. 02	0. 11
49年目	H 86	0. 1028	93. 3	-4. 77	-0. 49	1. 02	0.10
	11 00	0. 1020	JU. U	284. 43	248. 32	51.00	15. 99
合 計				۷04. 43	۷40. کا	ij1. UU	10. 99
単純事業費計				289. 20		51.00	
一 心于木具山				209. 20		31.00	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

2	
1	
납	
**	
++	

便益の現在価値算定表	玍価値	[算定表			[事業全体]	[4]		箇所名:窪	:窪川佐賀道路												
年次	年度	総	行合和の年	総走行台和の年次別伸び率	樹	率当尾	GDP		走行	走行時間短縮便益 (億円/年)	垍			走行 _}	走行費用減少便益 (億円/年)	相		事故減少 (億円/	ケ便益 /年)	合計 (億円/年)	年)
	基準作用 28	7、蘇里田華	(四国ブロック: H22) 小型音物 華藩音物	. ク: H22) 単語信物	_ 	- (ボンレータ	垂田車	小形信物	中	#	現在価値①×(A)	垂田書籍	. 操門所以	事 祖 記 別	#	現在価値の×(A)	@	現在価値	便益合計 (1)~(3)	現在価値割回來4%
完成供用開始年次	H 37	. 99505	0. 98908	0.99856	36	0.7026		12.31	2.95	3.93	19	13. 48	1.98	0. 44	0.71	က	2. 20	1.19	0.83	23. 50	16.51
1年目	Н 38		0.98896	0.99855	0.99398	0.6756		12. 24	2. 92	3.92	19.09	12.90	1.97	0. 44	0.70	3.11	2. 10	1.18	0.80	23. 38	15.80
2年目3年目	H 39	0.99500	0. 98883	0.99855	0.99395	0.6496	93. 3	12. 18	2.89	3.92	18.99	12.33	1.96	0. 43	0.70	3. 10	2.01	1.17	0.76	23. 26	15. 11
4年目	H 41	0.99495	0. 98858	0. 99855		0. 6006		12.06	2.82			11. 28	1.94	0. 42		3.07	1.84	1. 16	0.69	23.01	13.82
5年目	Н 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.5775		12.00	2. 79		18.69	10.79	1.93		0.70		1. 76	1.15		22.89	13. 22
6年目		0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.5553	93. 3	11.89			18. 56		1.91	0. 42	0.70	3.03	1.68	1.14	0.63	22. 73	12. 62
7年目	H 44	_	0.99318	1.00173	0.99200	0. 5339		11. 77	2. 75		18. 44		1.89		0. 70	3.01	1.61	1.13	0.60	22. 58	12.05
8年目			0.99313	1.001/3	0.99193	0.5134		11.66			18.31		1.8/	0. 41	0. /0	2. 99	1.53	1.12	0.58		11.51
9年日 10年目	H 47	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4936	93.3	11. 54	2. 70	3 93	18 06	8.97	1.80	0.41	0.70	2.97	1.47	1 0	0.55	22. 21	10.99
11年目		0. 98996	0. 99299	1.00172	0. 99173	0. 4564		11.31			17.93		1.82	0. 40	0.71	2.93	1.34	1.10	0. 50	21. 95	10.02
12年目		0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.4388		11. 20			17.80	7.81	1.80	0.40	0.71	2.91	1. 28	1.09	0. 48	21.80	9. 26
13年目	Н 50	98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.4220		11.08			17. 67	7. 46	1. 78	0.40	0.71	2.89	1. 22	1.08	0.45	21.64	9.13
14年目	H 51	9862	0.99284	1.00171	0.99152	0.4057	93. 3	10.97			17. 55	7.12	1. 76	0.39	0. 71	2.87	1.16	1.07	0. 43	21. 49	8. 72
15年目		0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3901	93. 3	10.85			17. 42		1. 75		0. 71	2. 85	1. 5	1.06		21.33	8.32
17年目	н 53	0.98943	0.992/4	1.00170	0.99138	0.3751	93.3	10.74	2.58	3.97	17. 29	6 10	1. /3	0.39	0. /1	2.83	1.06	1.05	0.39	21.17	7.58
18年目		0.98920	0.99263	1 00170	0.99123	0.3468		10.51	2.54		17.04	5.91	1 69		0.72	2. 79	0.97	1 03	0.36	20.98	7. 23
19年目		80686	0.99257	1,00169	0, 99115	0.3335		10.39	2.53		16.91		1.67		0.72			1.02	0, 34	20, 70	6.91
20年目	Н 57	4	0.99252	1.00169	0.99107	0.3207	93. 3	10. 28	2. 51		16. 79	5.38	1. 65	0.38	0. 72	2. 75	0.88	1.01	0.32	20. 55	6. 59
21年目	Н 58		0.99246	1.00169	0.99099	0.3083		10.16	2. 49	4.01	16.66	5.14	1.63	0.37	0.72	2. 73	0.84	1.00	0.31	20.39	6. 29
22年目		98871	0.99240	1. 00168	0.99091	0. 2965		10.05	2. 47		16. 53		1. 62		0. 72		0.80			20. 24	6.00
23年目		0. 98858	0.99235	1.00168	0.99082	0. 2851	93.3	9.93	2. 45	4.02	16. 41	4. 68	1.60	0.37	0. 72	2. 69	0. 70	0.99	0. 28	20.08	5. /2
24年目	19 H	0. 98845	0. 99229	1. 00168	0. 990 /4	0.2/41	93.3	9.82	2. 43	4. 03	16. 28	4. 46	1. 58	0.37	0. 72	2. 6/	0. /3	0.98	0. 27	19.92	5. 46
日本67		90001	0. 99223	1.00167	0.99000	0.2020		9. / 1	2.41	4.04	16.03		1.50	0.30	0.72	2.03	0. 0	0.97	0. 20	19. 77	9. 21
27年目			0. 99211	1. 00167	0.99047	0.2437	93.3	9. 48	2.37		15.90	3.87	1. 52	0.36	0.73		0.07	0.92	0.23	19.46	4. 74
28年目	H 65	0.98789	0.99204	1.00167	0.99038	0.2343		9.36	2.36	4.06	15.77	3. 70	1.51	0.35	0.73	2. 59	0.61	0.94	0.22	19.30	4.52
29年目	99 H		0.99198	1.00167	0.99029	0. 2253		9. 25	2.34	4.06	15.64	3.52	1. 49	0.35			0.58	0.93	0. 21	19.14	4.31
30年目			0.99191	1.00166	0.99019	0. 2166		9. 13					1.47	0.35	0. 73		0.55	0.92	0. 20	18.99	4. 11
31年目		~ _	0.99185	1.00166	0.99010	0. 2083	93. 3	9.02	2.30	4.08	15.39	3. 21	1. 45	0.35	0. 73	2. 53	0. 53	0.91	0. 19	18.83	3.92
33年日	E0 H	0.90727	0.99170	1.00165	0.99000	0. 2003		06.90	2. 70	00 4	15. 20	3.00	1.45	0.04	0.73	2.31	0. 00	0.90	0. 0	10.00	3. 74 2. 57
34年目		4.	0.99164	1. 00165	0.98930	0. 1920		8.67		4. 10	15.01		1.39	0.34	0.74		0.46	0.89	0. 16	18.36	3.40
35年目	Н 72		0.99157	1.00165	0.98969	0.1780		8. 56		4. 10	14.88	2. 65	1.38		0.74		0.44	0.88	0.16	18. 21	3.24
36年目	· [98659	0.99150	1.00165	0.98958	0. 1712	93. 3	8. 44		4. 11	14. 76		1.36	0.33	0. 74		0. 42	0.87	0. 15	18. 05	3.09
3/年目	- 1	98641	0. 99143	1.00164	0.9894/	0. 1646		8. 33		4. 12			1.34		0. /4			0.86	0. 14	17.89	
30年日	C/ H	0. 96022	0.99133	1.00164	0.90930 0.08025	0. 1505	93. 3	0. 21 8 10		4. 12	14. 30	2. 30	1.32	0. 55	0.74	2. 39	0.36	0. 03	0. 0.	17.78	2.01
40年目	1	0. 98583	0.99120	1. 00164	0.98913	0. 1463		7. 98	2. 13	4. 14	14. 25	2. 08	1. 28	0.32	0.74	2.35	0.34	0.83	0. 12	17. 43	2. 55
41年目	H 78	0.98563	0.99112	1.00163	0.98901	0.1407		7.87		4.14			1.27		0.74				0.12	17. 27	2. 43
42年目	6/ H	0.98542	0.99104	1.00163	0.98889	0.1353		7.75	\sim	4. 15		1.89	1. 25		0.74			0.81	0.11		2.32
43年目		0.98520	0. 99096	1. 00163	0.98876	0. 1301	93. 3	7. 64	_		13.87	1.80	1. 23		0. 75		0.30	0.80	0. 10	16.96	2. 21
44年目	H 81	0.98498	0.99088	1.00162	0. 98863	0. 1251	93. 3	7.52	2.05	4. 16	13. /4	1. 72	1.21					0. 79		16.80	2. 10
45年日	H 82	0.98475	0.99080	1.00162	0.98850	0. 1203	93.3	7.41	_ _	4. 1	13.61	1. 54	1 19	0. 3	0. 75	2. 25	0.27	0. /8	0.09	16.05	2.00
40年日		0.90451	0 99062	1 00162	0.98823	0.1137	93.3	7 18	2.02	4. 18	13.36	1.30	1 - 1	0. 30	0.75	2 27	0.20	0.77	0.00	16.33	1.91
48年目	Н 85	0.98402	0.99054	1,00161	0.98809			7.07	, 0	4. 19		1.41	1.14		0.75	2. 2.	0. 23	0. 76	0.08	16. 18	1, 73
49年目	98 H	0.98376	0.99045	1.00161	0.98795			6.95	1.96	4. 20		1.35	1.12		0.75	2.17	0. 22	0.75		16.02	1.65
¢α	+=							487.32	121. 28	201.77	810.38	269. 58	78.38	18. 26	36. 22	132.85	44. 11	48. 57	16.34	991.80	330.03

2	
1	
甘	
様	

便益の現在価値算定表	生価値	 質定表			【残事業】			箇所名:窪川佐賀道													
年次	年度		総走行台和の年次別伸び率	E次別伸び	樹	率当属	d09		走作	走行時間短縮便益 (億円/年)	坩			走行 _。	走行費用減少便益 (億円/年)	₩		事故減少便益 (億円/年)	>便益/年)	合計 (億円/年)	† (年)
	基準年 H 28	単田華	(四国ブロック: H22) 小型信物 華通信物	ック: H22) 普通貨物	· ·		デフレータ	華田書	小型信物	事	#	現在価値①×(A)	垂田書籍	1. 型金物	世	#	現在価値の×(A)	@	現在価値3×(4)	便益合計	現在価値割巨率4%
完成供用開始年次	H 37	0, 99505		0.99856	36	0, 7026	93. 3	12.31	2.95	3, 93	19, 19	13, 48	1.98	五 0. 44	0.71	က	2. 20	1.19	0.83	23. 50	16.51
	Н 38		0.98896	0.99855	0.99398	0.6756	93. 3	12. 24	2.92	3.92	19.09	12.90	1.97	0.44	0.70	3.11	2. 10	1.18		23.38	15.80
2年目		0.99500	0. 98883	0.99855	0.99395	0.6496	93. 3	12. 18	2. 89		18.99	12. 33	1.96		0.70	3. 10		1.17	0. 76	23. 26	15.11
3年日	Н 40	0. 99497 0. 0040E	0. 988 / 1	0.99855	0.99391	0.6246	93.3	12. 12	2.86	3.91	18.89	11.80	1.95	0. 43	0 0	3.08	1.92	1. 16	0. /3	23. 13	14. 45
5年目		0, 99492	0.98845	0.99855	0.99384	0. 5775	93.3	12.00			18.69	10, 79	1.93		0, 70		1. 76	1. 15	0.66	22.89	13, 22
6年目		0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.5553	93. 3	11.89			18. 56	10.31	1.91				1. 68	1.14	0.63		12. 62
7年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.5339	93. 3	11. 77		3.91	18. 44	9.84	1.89	0. 41			1.61	1.13			12.05
8年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.5134	93. 3	11.66	2. 73	3.92	18.31	9. 40	1.87	0. 41	0.70	2.99	1.53	1.12	0.58	22. 42	11.51
9年目	Н 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4936	93. 3	11.54			18. 18		1.86		0.70		1. 47	1.11		22. 27	10.99
10年目		0. 99006	0.99304	1. 00172	0.99180	0.4746	93.3	11. 43	2. 70		18.06	8. 57	1.84		0.71		1.40	1. 10	0.52		10. 49
17年日	H 48	0.98990	0.99299	1.00171	0.99173	0.4504	93. 3	11.31	2.08	3.94	17.00	8. 18	1 87	0.40	0. 7	2.93	1.34		0. 00	21.93	10.02
13年日	н 50	0. 90900	0.99294	1 00171	0 99167	0.4300	95. 5	11 08	2.00	3 95	17.67	7.01	1 78	0.40	0.71	2.91	1 22	- 1-	0. 40	21.00	9. 30
14年日		0.98975	0.99209	1 00171	0.99100	0.4220	93. 3	10 97			17.55	7 12	1.76		0 71		1 16	1 00	0.43		8 72
15年目		0.98954	0 99279	1 00170	0.99145	0.3901	93.3	10.85		3 97	17.42	6.80	1 75	0.39	0 71	2. 85	1 1 2	1 06	0.43	21. 43	8.32
16年目		0. 98943	0.99274	1.00170	0.99138		93.3	10.74					1.73		0.71	2.83	1.06	1.05	0.39		7.94
17年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130		93. 3	10.62	2. 56		17.17		1.71	0.39	0.71	2.81	1.01	1.04		21.02	7. 58
18年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.3468	93. 3	10. 51	2.54	3.99	17.04	5.91	1.69	0.38	0.72	2. 79	0.97	1.03	0.36	20.86	7. 23
19年目		0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.3335	93. 3	10.39	2. 53	3.99			1.67		0.72	2. 77		1.02		20.70	6.91
20年目		0.98896	0.99252	1. 00169	0.99107	0.3207	93. 3	10. 28	2. 51		16. 79		1.65		0. 72	2. 75	0.88	1.01		20. 55	6.59
21年目	H 58	0. 98884	0.99246	1. 00169	0.99099	0.3083	93. 3	10. 16	2. 49	4.01	16.66	5. 14	1. 63	0.37	0. 72	2. 73	0.84	1.00	0.31	20.39	6. 29
22年目		0. 98871	0.99240	1.00168	0.99091	0. 2965	93. 3	10.05	2. 47				1. 62		0. 72		0.80			20. 24	6.00
23年目		0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0. 2851	93.3	9.93	2. 45	4.02	16.41		09 .		0. 72	2. 69	0. 70	0.99	0. 28	20.08	5. 72
24年日	I o H	0. 98845	0. 99229	1.00168	0. 990/4	0.2/41	93.3	9.82	2. 43	4.03	16. 28	4.40	1.58	0.37	0. 72	7. 67	0. 73	0.98	0. 27	19.92	5.46
日本67		0.90031	0. 99223	1 00167	0.99005	0. 2030	95. 5	9. 71	2.41		16.13		1.50		0. 72	2.05		0.97	0. 20	19. //	9. 21
27年目		0, 98803	0.99211	1,00167	0.99030	0. 2437	93.3	9. 39	2. 37		15.90	3.87	1.52								4. 3/
28年目		0.98789	0.99204	1.00167	0.99038	0.2343		9.36	2.36	4.06	15.77		1.51	0.35	0.73	2. 59	0.61	0.94	0.22	19.30	4.52
29年目	99 H	0.98774	0.99198	1.00167	0.99029	0. 2253		9. 25	2.34	4.06	15.64		1. 49		0.73		0.58			19.14	4.31
30年目	19 Н	0.98759	0.99191	1.00166	0.99019			9.13		4.07	15. 52		1.47		0.73	2. 55	0.55	0.92	0. 20	18.99	4.11
31年目	H 68	0.98743	0.99185	1.00166	0.99010		93. 3	9.02	2. 30	4.08	15.39	3. 21	1. 45	0.35	0. 73	2. 53	0.53	0.91	0. 19	18.83	3.92
32年目		0.98727	0.99178	1.00166	0.99000		93. 3	8.90	2. 28		15. 26		1. 43		0. 73	2.51	0.50		0. 18	18. 68	3. 74
33年目	H 70	0.98711	0.99171	1.00165	0.98990		93. 3	8. 79			15.14		1. 41			2. 49	0. 48	0.89	0. 17	18. 52	3.57
35年目	17 H	0.99094	0.99104	1 00165	0.96979	0. 1032	93.3	8.56	2. 24	4. 10	14 88	2. 70	1 38	0.03	0 74	2.47	0.40	0.08	0.10	18 21	3.40
36年目	Н 73	0.98659	0.99150	1.00165	0.98958		93. 3	8. 44			14.76		1.36	0.33		2. 43	0.42	0.87	0.15	18.05	3.09
37年目	Н 74	0.98641	0.99143	1.00164	0.98947	0.1646	93. 3	8.33		4. 12	14.63		1.34		0.74		0.40		0.14	17.89	2.95
38年目		0.98622	0.99135	1.00164	0.98936	0. 1583	93. 3	8. 21		4. 12		2.30	1.32		0. 74		0.38		0.13		2.81
39年目	H 76	0. 98603	0.99128	1.00164	0.98925	0. 1522	93. 3	8. 10	2. 15	4. 13	14.38		1.30	0.32	0.74	2.37	0.36	0.84	0. 13	17. 58	2. 68
40年目		0. 98583	0.99120	1.00169	0.98913	0. 1403	93. 3	7.98		4. 14		2. 08	1.28		0. 74		0.34		0. 12	17. 43	2. 55
41年日	0/ 1	0.98363	0.99112	1.00163	0.98901	0. 1407	93. 3	7.87	2.11	4. 14	14. 12	1 99	1.27	0.32	0. 74	2. 33	0. 33	0. 82	0. 12	17.71	2.43
42年日	6/ 0	0.90342	0.99104	1.00163	0. 90009	0. 1333	95. 5	7.64			12.00	1 00	1.23		0. /4		0.0	0.0	0.0	16.06	2. 32
45年日	н 9	07000.0	0.99090	1 00162	<u>ن</u> د	0. 1301	95. 5	7.52	2. U/	4. 10	13.07	1 79	1. 23	0.01	0.75	2. 29			0.10	16.90	2. 21
45年目	Б 2	0.98475	0 00080	1 00162	Ö	0 1203	93.3	7. 41	2 03	-1-	13.61	1 64	1 10		0.75		0.23	0.78	000	16.65	2 00
46年目		0. 98451	0.99071	1, 00162	0	0. 1157	93.3	7.30	2.02	4. 18	13. 49	1.56	1.17					0. 78	0.09	16. 49	1.91
147年目	H 84	0.98427	0.99062	1.00162	0.98823	0.1112	93. 3	7. 18	\circ	4. 18		1. 49	1.15		0.75			0.77		16.33	1.82
		0.98402	0.99054	1.00161	0.98809	0. 1069	93. 3	7.07	1.98		13. 23	1.41	1.14	0.30	0. 75	2. 19		0. 76		16. 18	1. 73
49年目	98 H	0.98376	0.99045	1.00161	0.98/95	0. 1028	93. 3	6.95	1.96	4. 20				0. 29	0. 75	2.17	0. 22	0. 75	0.08	16.02	1.65
įα	 -							487.32	121. 28	701. 11	810.38	209. 28	78.38	18. 20	30. 22	132.85	44.	48.5/	10.34	991.80	330. 03

路線名	箇所名	車線数	延長	
窪川佐賀道路			11.2km	

■事業費内訳 〈全体事業費〉

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					26,610	
	改良費				7,105	
		土工	m3	3,207,246	3,506	切土(1,143,782m3)、盛土(994,721m3)、残土処理(862,828m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
法面工 擁壁工 管渠工 函渠工		m¹	175,703	209	切土法面、盛土法面	
		式	1	1,712	補強土壁、重力式擁壁、逆T式擁壁、ブロック積擁壁等	
		m	643	104		
		m	691	688		
		排水工	m	25,890	439	
		中央分離帯工	m	2,025	88	
		雑工	式	2	360	
	橋梁費				2,624	
		100m以上	m	250	926	鋼橋1橋(上部工のみ)、PC橋1橋
		100m未満	m	335	1,698	鋼橋3橋、PC橋4橋
	トンネル費	Ì			15,243	
NATM		NATM	m	4,915	15,243	6本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費 IC				365	
			箇所	1	365	
JCT		箇所				
	舗装費	1			457	
		車道舗装	m²	74,596	457	
			m³			
	付帯施設費				815	
		交通管理施設工	式	1	815	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補					1,550	
	用地費		m²	370,221	697	
		宅地	m³	13,175	329	
		田畑	m²	128,772	328	
		山林・原野	m²	227,919	34	
その他		m²	355	5		
	補償費	1	式	1	853	
③間接経費			式	1		 地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費			-			※百万円以下四捨五入

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
窪川佐賀道路	窪川佐賀道路 窪川~佐賀		11.2km

■事業費内訳 <残事業費>

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					23,992	
	改良費				5,575	
		土工	m3	3,108,029	1,976	切土(1,143,782m3)、盛土(994,721m3)、残土処理(862,828m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
法面工 擁壁工 管渠工 函渠工		m [*]	175,703	209	切土法面、盛土法面	
		式	1	1,712	補強土壁、重力式擁壁、逆T式擁壁、ブロック積擁壁等	
		m	643	104		
		m	691	688	3	
		排水工	m	25,890	439	
		中央分離帯工	m	2,025	88	
		雑工	式	2	360	
	橋梁費	•			1,784	
		100m以上	m	250	686	鋼橋1橋(上部工のみ)、PC橋1橋
		100m未満	m	335	1,098	鋼橋3橋、PC橋4橋
	トンネル費	E.			15,243	
NATM		m	4,915	15,243	6本(上下線)	
		シールド	m			
	IC・JCT費 IC				117	
			箇所	1	117	
JCT		箇所				
	舗装費				457	
		車道舗装	m³	74,596	457	
		步道舗装	m¹			
	付帯施設	- 費			815	
		交通管理施設工	式	1	815	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補	 i償費	•			1,030	
	用地費		m [*]	286,221	477	
		宅地	m [*]	5,175	219	
		田畑	m²	95,772	228	
		山林・原野	m³	184,919	24	
その他		m³	355	5		
	補償費		式	2	553	
③間接経費	t e		式	1	6,173	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費						※百万円以下四捨五入

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	窪川佐賀道路	2	11.2km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	11.2	1,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,500	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。